

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

5

2023

May

特集 青少年奉仕

リーダーを育む

ロータリー青少年交換プログラム

ローターアクターが福島を訪問

被災地をこの目で見よう

Rotary



ロータリーと共に

ポリオをなくそう

みんなが健康でこそ豊かな地域社会となると、ロータリーは信じています。だからこそ私たちは、25億人以上の子どもへのポリオ予防接種を粘り強く続けてきました。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、人びとの命を奪う疾患を根絶すること。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary



世界を変える行動人

CONTENTS

5 月は 青少年奉仕月間

RI R I 会長メッセージ 4

R I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

特集 青少年奉仕月間 7

リーダーを育む ロータリー青少年交換プログラム

ローターアクト 16

学ぼう！ Rotaract ③

ローターアクトの例会に行ってみよう！

6	●ロータリーとは
30	●People of action around the globe
33	●パズル de ロータリー／詰め碁
34	●エバンストン便り
35	●2023 年国際大会 RI
	●財団管理委員長からのメッセージ RI
36	●お知らせ クラブ名称変更／RAC 終結／『友』誌上半期ご購入数の変更について／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』6 月号主要記事予定
37	●日本ロータリー分布図／奥付
38	●表紙について／パズルの答え／詰め碁の答え
39	●投稿規定

PICK OUT PROJECT 18

3.11 被災地をこの目で見よう

—— ローターアクトが、震災の爪痕が残る福島を訪問

視点 ガバナーのロータリー・モメント 20

第 2650 地区 尾賀康裕／第 2660 地区 宮里唯子／
第 2670 地区 八田 光／第 2680 地区 阪上栄樹／
第 2690 地区 友末誠夫／第 2700 地区 西島英利／
第 2710 地区 石川良興／第 2720 地区 堀川貴史／
第 2730 地区 山ノ内文治／第 2740 地区 上村春甫

よねやまだより 26

米山から世界の町へ ②③

カナダ・アルバータ州

Food for Thought ⑪ 28

決め手はスパイス

NEW GENERATION 32

米山奨学生 グエン ゴック タン ガン／
米山奨学生 李 光宗

People of Action — and empathy

I believe it is a time in our world for brave, courageous, intentional leadership.

Last month, in this column, you heard from my dear friend Anniela Carracedo. She is an amazing member of our Rotary family, and as a past Interactor and now Rotarian, she is this kind of leader.

Anni shared a very personal story about coping with a panic attack, something that I have also experienced. The outpouring and response to this story have been tremendous and punctuate how critical it is that we acknowledge not only our strengths but our vulnerabilities too.

When we talk about finding space for one another — creating comfort and care within Rotary — we're describing a club experience where we can all feel comfortable sharing like Anni did, and we can all empathize with and support one another. Whatever we are facing in life, Rotary is a place where we know we're not alone.

We spend so much time helping our world, whether it's working to end polio, cleaning up the environment, or bringing hope to communities that need it most. Sometimes we can lose track of the need to apply some of our energy and care to our fellow members and partners in service.

The comfort and care of our members is the single greatest driver of member satisfaction and retention. We need to ensure that it remains a priority — and that we further strengthen these bonds by performing service that helps reduce the stigma of seeking out

mental health treatment and expands access to care.

That is why I'm so heartened by President-elect Gordon McNally's wonderful vision to help improve the global mental health system, not only for Rotary members, but for the communities we serve.

When Gordon announced our focus on mental health at this year's International Assembly in Orlando, Florida, he reminded us that helping others benefits our mental health by reducing stress and improving our mood. Studies show that performing acts of kindness is an effective way to improve your own mental and physical health. Rotary service brings hope to the world and joy to our lives.

Our new focus on mental health will take some time to do right, and yet it builds on something that has been part of who we are for 118 years. We are People of Action, and behind that action is care, compassion, empathy, and inclusion.

Becoming champions of mental health is not only the right and kind thing to do, it is a tool that can Create Hope in the World, Gordon's inspiring theme for his upcoming year as president.

If we serve our members, we serve our communities, and if we can meet people where they are and lift them up, they will imagine Rotary in a new light and come to fully understand our value and our infinite potential.

JENNIFER JONES

President, Rotary International



1月の国際協議会で、ジェニファー・ジョーンズR I 会長(中央)とR I 会長エレクトのゴードン・R・マッキナリー氏とヘザー夫人

「世界を変える行動人」と共感の心

今こそ、勇気を持った、積極的なリーダーシップが必要とされている時であると私は確信しています。

先月の会長メッセージでは、私の大切な友人、アニエラ・カラセドさんのストーリーを紹介しました。彼女はロータリーファミリーの素晴らしい一員であり、元インターアクター、そして現在はロータリアンとして、まさにこのようなリーダーです。

アニエラさんは、パニック障害を乗り越えた体験談を共有してくれました。実は私も同じ経験をしています。彼女のストーリーに対する大きな反響は、人はお互いの強さだけでなく、弱さも認め合うことがいかに重要であるかを示しています。お互いの居場所を見つけるために私たちが語り合うのは、ロータリーの中で「居心地のよさと配慮」を創り出すためです。私たちの言うクラブでの体験とは、私たち皆がアニエラさんが体験したような心地よさを感じることができ、皆が共感しお互いを支え合う場となることなのです。私たちが人生で直面していることが何であれ、ロータリーの中では、私たちは独りではありません。

私たちは、ポリオ根絶や環境保護を進め、支援を必要とする地域社会に希望をもたらすなど、世界に手を差し伸べることに多くの時間を費やしています。一方で私たちは、奉仕活動の仲間である他の会員やパートナーに対しては、いたわりやと思いやりを傾ける必要がある、ということを忘れがちです。

会員にとっての「居心地のよさと配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最良の方法であり、会員維持の最善の手段です。これを最優先事項とし続けていく必要があります。加えて、メンタルヘルスのための治療に対する偏見をなくし、ケアへのアクセスを拡大するような奉仕活動を行うことで、互いの絆を深めていくことができます。ですから、ゴードン R. マッキナリー R I 会長エレクトが、ロータリー会員だけでなく、私たちが奉仕する地域社会のためにも、世界中でメンタルヘルスのシステムを改善したいという素晴らしいビジョンを示したことを、うれしく感じています。

今年の国際協議会で、ゴードンさんがメンタルヘルスに焦点を当てることを発表した時、他者を支援することで、私たち自身のストレスも軽減され、気分が良くなるということをおい出させてくれました。研究によると、親切的な行為を行えば、自分自身の精神的・肉体的健康を改善する効果があることが証明されています。奉仕は世界に希望を、私たちの生活には喜びをもたらします。

今度、メンタルヘルスについて活動していくにあたって、着実に進めていくためには時間がかかりますが、118 年間にわたって私たちの成してきたことの一部を発展させればよいのです。私たちは、「世界を変える行動人」であり、その行動の裏には配慮、思いやり、共感、インクルージョンがあります。メンタルヘルスの問題に取り組んでいくことは正しく、大切であるだけでなく、ゴードン会長エレクトの次年度のテーマである「世界に希望を生み出そう」を実践していく方法でもあります。会員に奉仕することは地域社会に奉仕することです。人々に歩み寄って力を貸すことで、人々はロータリーを新たな光として「イマジン」し、ロータリーの価値と無限の可能性を真に理解してくれるでしょう。

ジェニファー・ジョーンズ

2022-23年度 国際ロータリー (R I) 会長

RI 会長メッセージ

RI 指定記事

PRESIDENT'S MESSAGE

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,947、会員総数1,192,270人（2023年3月15日国際ロータリー公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,215、会員数84,388（2023年2月末現在）となっています。

2022－23 年度会長テーマ



イマジン ロータリー

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

リーダーを育む ロータリー青少年交換 プログラム

異文化



文化交流

伝統文化



地域貢献

起業

途上国支援



難民支援



ロータリー青少年交換プログラムは、世界100以上の国と地域で実施され、15～19歳の若者が外国に滞在し、言語や文化を学びながら、世界市民としての自覚を養います。若者に大きなインスピレーションを与え、次世代のリーダーを世界へと導くチャンスを与える青少年交換プログラム。今回は参加をきっかけにリーダーとなった起業家と、これから派遣される次世代のリーダーを紹介します。



村上 采 | 2014-15年度第2840地区青少年交換学生

伊勢崎銘仙をブランド化 伝統の布に新しい価値を添える

ロータリー青少年交換学生で海外留学を経験したことで、文化を大切にし、世界で活躍したいと大学4年で起業。地元の伝統産業・伊勢崎銘仙に新たな価値を付けてブランド化し、世界に発信することで地域社会に貢献しています。

株式会社Ay

「文化を織りなす」をコンセプトに、日本の文化に光を当て、新しい価値を添えて発信する。アパレルの企画・製造・販売、ブランドディレクションを行う

青少年交換に応募した理由、派遣されるまでの経緯は？
起業のきっかけとなった青少年交換の出来事は？
地域社会に貢献していると思うことは？

私は群馬県伊勢崎市に生まれ、高校までを地元で過ごし、2020年6月、大学在学中に会社を立ち上げました。株式会社Ayは「文化を織りなす」をコンセプトに、日本文化に向き合い、ほぐし、新しい価値を添えて発信しています。運営するカルチャーブランド「Ay（アイ）」では、地域社会に寄り添った商品開発やブランディングを行っています。

起業のきっかけとなる原体験の一つは、中

村上 采

群馬県伊勢崎市出身。株式会社Ay / Ay inc代表取締役社長。2023年3月慶応義塾大学総合政策学部卒業。2014-15年度第2840地区青少年交換学生としてアメリカへ派遣（スポンサークラブ:伊勢崎RC）

学校の授業「ふるさと学習」で地元・伊勢崎市の伝統産業である絹織物「銘仙」を学んだことです。銘仙継承活動をする講師と出会った私は「地元にこんなにかわいい着物があったなんて！」と衝撃を受け、「銘仙」に強く引かれました。

自分を形作った青少年交換

それから高校に進学し、現在の私を形作る上で重要な体験をします。英語が好きで異文化に興味を持ち、また当時の生活が閉鎖的だと感じていた私は、ロータリー青少年交換プログラムで1年間アメリカへ留学したのです。この経験で私は、自分の意見を持ち、それを発信し議論する、そして行動することが

自分の存在を証明することなのだという考えに触れ、衝撃を受けました。そしてさまざまな文化に出会い、自分の可能性を広げることができる世界で活躍したい、と思うようになりました。

帰国後、進学した大学で改めて、伝統織物「銘仙」について学び、生活様式の欧米化により「銘仙」の需要が低下していること、生産者の高齢化や後継者問題による職人不足で、ブランド「銘仙」そのものが衰退している状況を知り、何かできないかと考え始めました。また、世界各地への旅を重ね、アフリカとアジアの魅力を感じるようになっていきました。

大学で国際協力を学んでいたことから、アフリカのコンゴ民主共和国へ渡航し、現地の人と協働してアフリカの布を使用した服を作り始めました。渡航は2回にわたり、2019年5月、現地で生産した衣服を日本で販売するビジネスを立ち上げました。この経験から、郷里・伊勢崎で「銘仙」をアップサイクル（捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生）した衣服を開発、販売することを思い付いたのです。

新しい文化を創る

私は「Ay」を通して、銘仙や日本文化を生活に取り入れ、その良さを人々に感じてほ



鮮やかで大胆な色使いが特徴の銘仙をアップサイクルした小物やスカート

しい、そして皆さんと新しい文化を共創していきたいという思いを持っています。ただ、銘仙は国内でも知名度が低いため、その良さを伝えることに苦労しています。しかし、そこを一般の人々に向けて分かりやすく発信するのが私の役割。それによって理解が広がり、世の中に普及していくのだと思います。

「Ay」という存在が伝統産業とユーザーの間に立ち、産業の魅力を引き出し、ユーザーの需要をくみ取ることで、新たな価値を創ることができると考えています。このことが起業するにあたり掲げたミッション「文化を織りなおす」につながります。

私は今年3月に大学を卒業しました。これから30代までは成長の時だと思っています。まず、自分が動いて経験を積み、知識を得て、成果を出していきたいです。実績があってこそ地域社会に還元できるのでは、と考えます。

将来、ロータリークラブの会員になることができれば、その時は今後地域を担う若手女性起業家を支援できるような取り組みをしたいです。また、現在のロータリーの皆さまには若者の起業や事業の立ち上げにも支援をしていただけたら大変うれしいです。そして、活躍されているさまざまな業種の皆さまとつないでいただきたいです。今後ともよろしくお願いいたします。



左ページ上:銘仙をアップサイクルしてスカートに
右ページ左下:店舗で商品を陳列 右上:留学先のアメリカでロータリーのイベントに浴衣で参加 右下:コンゴ民主共和国で現地の人たちと衣服を制作



宮脇 路子 | 1987—88年度第2770地区青少年交換学生

派遣先で魅了されたフィンランドの文化や伝統を日本に伝える

今でこそ北欧スタイルで人気のフィンランドも、30年前の日本では知る人もわずか。乏しいイメージしかありませんでした。そんな時代に見ず知らずの国に派遣され、フィンランドに魅了された私は、大人になってその国の文化や魅力を伝えることを生業としています。

有限会社ミコンフィンランドトレーディング

フィンランド輸入雑貨の販売とフィンランド料理を提供するカフェを運営。フィンランドの日用雑貨と料理、文化交流の店「ミコンフィンランドショップ&カフェ」は昨年2店目もスタートした

青少年交換学生に応募した理由は？

起業したきっかけは？

フィンランドの魅力は？

留学は、実は本人は乗り気ではなかったものの、母に勧められて決めました。留学先の希望を聞かれ、カナダを第一志望としていましたが、おさえて「ニュージーランド」と書こうとしたところ、なぜか「フィンランド」と書いたことから、フィンランドへの派遣が決定。偶然が重なり、見ず知らずのフィンランドに1年間留学することになったのです。当時の日本は、北欧の国・フィンランドを知

宮脇 路子

埼玉県出身、東京都在住。
有限会社ミコンフィンランドトレーディング社長。
1987—88年度第2770地区青少年交換学生として、フィンランドへ派遣（スポンサークラブ：羽生RC）

る人も少なく、フィンランドに関する資料も乏しかったため、同じく交換留学で来日していたフィンランド人の留学生と、既に派遣され帰国していた青少年交換学生の先輩の話だけが頼りの心細い旅立ちでした。

インパクトを与えた青少年交換

いざ留学してみると状況は一転。私はフィンランドに魅了されました。現地の高校に通い、農学校で牛の飼育や乳搾りも体験。ホームステイを通して、フィンランド語、料理、手芸などを学びました。でも、一番学びたいと思ったのは、そのライフスタイルでした。

フィンランドにはサウナやサマーコテージなど憧れるものはたくさんありますが、中で



留学時の経験が今につながっています



も一番うらやましく思うのは時間の使い方です。大自然の中で家族とゆっくり過ごす時間を大切にする人たちなので、長い休暇を取り、その間ゆったりと時を過ごします。そんなぜいたくを生活の中に取り入れています。オンとオフをうまく切り替えるすべは、見習うべきものがあると思いました。

フィンランドを伝えたい

派遣期間が終わり、帰国した後もフィンランドが忘れられませんでした。フィンランドの物、文化、生活など全般を日本に紹介したい。また現地に行く機会を得たい、と30歳で起業しました。しかしながら、起業当時は資金繰りも苦しく、子育てとの両立で数年は苦労の連続でした。最初はネット通販から始め、自宅近くで雑貨店を開き、後に、雑貨だけでなく食文化を伝えようとカフェも併設。今ではフィンランド料理や手芸を教える教室



フィンランドのライフスタイルから学ぶことはたくさん



フィンランドの代表的キャラクターと宮脇さん(中央)

も開催しています。また、テレビ番組などではフィンランド料理の監修も行っています。

店舗にはフィンランドに興味があったり、留学を志したりする人が訪れることが多く、仕事の枠を超え、話の中でアドバイスをしたりしています。また、フィンランドからのインターンシップの学生を受け入れたり、地元の人々をフィンランドへ案内したり、自治体主催の料理教室で教えたりするなど、地域に根差した活動を行い、人々に癒やしの時間を提供しています。

青少年交換で派遣される時に、ロータリーの会員さんから使命として言われたのが、「日本の文化を海外に伝え、海外の文化を日本に伝えること」でした。青少年交換から数十年たちましたが、今後も、フィンランド文化を伝え続けていきたいです。また、フィンランドへ派遣される若者たちとの出会いも心待ちにしています。



左ページ上:フィンランドを案内 右ページ左下:文化交流の企画会議 右上:北欧で人気のシナモンロールを作ります 右下:裁縫教室でフィンランドの生地で作ったバッグを作りました



近藤 修一 | 2001-02年度第2580地区青少年交換学生

派遣先で国際情勢に関心を抱く 途上国への海外進出を支援

外国に行って思い知った「マイノリティー」としての自分、世界にあるさまざまな格差。途上国を支援したいという強い思いが、日本と途上国を結び付ける事業を起こすきっかけとなりました。そして、今、ロータリーの会員として奉仕活動をし、青少年を支援しています。

株式会社ワイオーエイ アフリカ

アフリカ・ガーナや東南アジアなどの市場に進出を希望する日本企業の支援。JICAやJETROなど国の機関と連携した途上国向けの市場開拓支援など

青少年交換学生に応募した経緯は？
起業したきっかけは？
地域社会に貢献していると思うことは？

いつか留学したいと思っていた高校生の頃、高校に掲示されていたポスターを見たのと、親からの強烈な推薦もあり、応募しました。当時は、学んでいたフランス語圏に留学したいと考えていましたが派遣先はハンガリーに。最初は驚きましたが、異文化の中に突然放り込まれ、現地の学校に通い、ホストファミリーと生活し、その中で新たな家族や友人ができたという希少性を得られたことは結果的に大きなプラスになったと思います。帰国

近藤 修一

東京都在住。株式会社ワイオーエイアフリカ代表取締役。東京あけぼのRC会員。2001-02年度第2580地区青少年交換学生としてハンガリーに派遣(スポンサークラブ:東京池袋西RC)。ライラアン(スポンサークラブ:東京芝RC)。(一社)ROTEX理事

後、進学した大学在学中にハンガリー政府の奨学金を得て、再度ハンガリーに留学したぐらい、ハンガリーフリークになりました。

起業のきっかけ

ハンガリーでも田舎の地域、アジア人の全くいない環境に派遣され、自身が「マイノリティー」となったことが大きいです。そして、ハンガリーの複雑な社会構造に接し、さまざまな格差がある国際情勢、特に途上国の教育問題に興味を持ちました。こうした国際情勢を学ぼうと、国際関係や開発に特化した大学院に進学。その後、専門商社で途上国でのプロジェクトを扱う仕事を通し、「アフリカ」と出合いました。そこで、ガーナに住むビジネスパートナーと知り合い、途上国を支援す

る事業を起こすこととなりました。

途上国で仕事をしていると、大臣、政府高官、経営者とのやりとりが多くなります。この時に青少年交換プログラムで培ったスピーチの経験、礼儀作法が役に立っていると思います。ロータリークラブの例会や奉仕活動に参加することは、他の留学にはない大きな特長です。こうしたスキルは一朝一夕には身に付くものではありません。

アフリカ向けのビジネスは、今でこそ話題に上ってきていますが、10年前は日本での理解度は非常に低く、顧客の開拓に苦労しました。現在でも商習慣に大きな違いがあり、間に立つ者としての苦労は絶えません。グローバル市場においてアフリカは「最後のフロンティア」とも呼ばれ、この先30～40年にわたり市場の成長性が期待されています。しかし、治安の問題や宗教的な対立、政治的な不安定さを因として、世界の中でも開発が遅れてしまったのではないかと思います。

地域に貢献

JETRO（日本貿易振興機構）などの公的機関と連携し、日本各地の中小企業の海外進出の支援をすることで、貢献できていると思います。日本は人口減少、高齢化などの問題に直面し、アジア市場もこの先20年で成長が頭打ちになることが予測されています。企業の海外進出は喫緊の課題である一方で、中小企業単体では難しい。私のような存在が



2001年8月、青少年交換でハンガリーに初めて到着した近藤さん(写真中央)

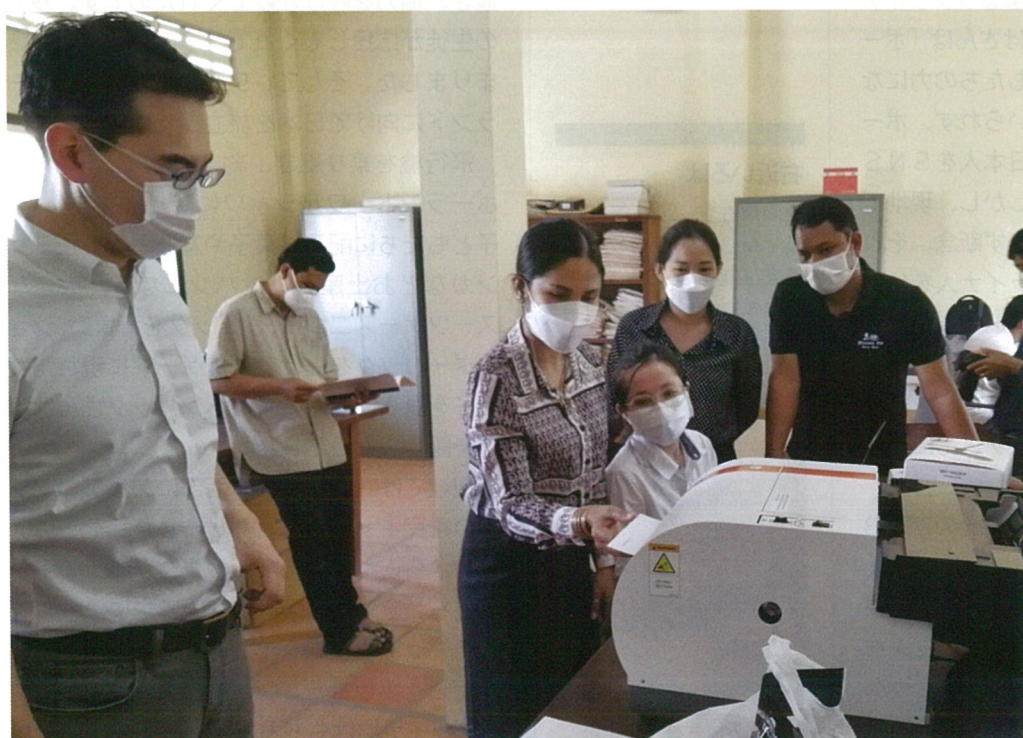


アフリカで現地調査

間に入ることで、正しくリスクを理解し、過度に恐れず、未知の市場に挑戦していく機会が増えていくことを期待しています。

現在は、日本の精米機器メーカーのアフリカ進出の支援をしています。日本は人口が減少し、コメの消費量も落ち、かつ精米機器業界は中小企業も多い。一方でアフリカでは人口が増え、コメの輸入に代えて国産化を進めているものの、精米品質が悪く出荷量が伸びない。そこで、日本メーカーの、シンプルだが高品質な機器をアフリカに導入することで、メーカーには新たな市場を開拓してもらい、アフリカ各国には食糧自給率を向上してもらう、双方に利益となるプロジェクトを目指しています。

会社員時代に各国に出張し、空港で地元のロータリークラブが掲げる「Welcome to～」といった看板を目にしました。そこで改めてロータリーのネットワークの素晴らしさを実感しました。過去の青少年交換学生としての経験を思い出し、自分もその一員として世界の人たちとつながりたいと思い、2014年に東京あけぼのRCに創立会員として入会、創立会長を務めました。現在は第2750地区平和フェローシップ委員会に所属し、南スーダンから来日し、ICU（国際基督教大学）で学ぶ平和フェローのカウンセラーを務めています。いずれは青少年交換プログラムに関わり、ホストファミリーも務めたいと思っています。



左ページ:アフリカで調査・支援する近藤さん(写真左) 右ページ左下:納品機材の操作指導 右上下:ロータリアンとして平和フェローを迎えます

42日間のチャレンジ 高校生とロータリーをつないだ奉仕の心

ロータリーはこんな若者を支援します



右近いろは | 2023-24年度第2660地区青少年交換学生

ロシアのウクライナ侵攻が始まって3カ月もたない2022年5月。1人の高校生がウクライナ難民を支援したいと、ポーランドへ飛びたちました。そんな勇気ある若者が現地で出会ったのはロータリー。彼女とロータリーのストーリーは今始まったばかりです。

(『友』編集部)

2022年2月末、ロシア軍によるウクライナ侵攻を知った高校生・右近いろはさんは「ポーランドに行って避難する子どもたちの力になりたい」と、居ても立ってもいられず、ポーランドで支援活動をしている日本人をSNSで探し、連絡を取りました。しかし、現地での滞在先を見つけることができず断念。それでも諦め切れずに今度はウクライナ人を父に持つ同級生に相談。すると、ポーランドでウクライナ支援をしていて、日本語も話せるというヘンリック・カリノフスキーさんを紹介されました。さっそくヘンリックさんに電話をしたところ、受け入れてもらえることに。

とはいえ、右近さんは当時17歳の高校3年生。簡単に行けるはずがありません。親、学校との話し合いを重ねに重ねて、出発が決まりました。その姿を見ていた学校の友人たちも動きます。右近さんの渡航費用と、ウクライナの子どもたちのために校内に募金箱を

右近いろは

大阪府在住。2023年3月大阪YMC A学院高校卒業。第2660地区2023-24年度青少年交換学生としてポーランドへ派遣予定(スポンサークラブ:大阪RC)



ポーランドへの渡航のため、学校に設置された募金箱

置き、協力を呼びかけてくれたのです。多くの生徒が応援してくれて、多額の寄付金が集まりました。そして、5月6日、ついにポーランドに向けて日本を旅立ったのです。

飛行機を乗り継ぎ、約24時間かけて1人ポーランド・ワルシャワに降り立ちました。子どもたちに配るお菓子や友達と作ったミサンガなどお土産でパンパンになった大きなスーツケース二つに、リュックを背負い、ショルダーバッグを提げて到着ゲートに現れた女の子を見て、迎えに来たヘンリックさんは驚きを隠せませんでした。

現地では、ポーランド西部にあるプロツワフの難民キャンプで活動しました。そこには戦地から逃れてきた多くのウクライナの子どもたちが避難生活を送っていて中には戦争で親を失った遺児もいました。

初日、ボランティアは右近さん1人だけ。ウクライナ語はもちろんポーランド語も分か

りません。何をしたいかわからず、シェルター内にある小さなプレイグラウンドで子どもたちと遊びました。数日後には、他のボランティアも加わってきました。中には同年代の若者もあり、仲間は徐々に増えていきました。

右近さんは、子どもたちに日本語を教えながら日本から持参した習字道具を使って子どもたちと筆で字を書いたり、時には、折り紙と一緒に折ったりして、ひたすら子どもたちと遊びました。子どもたちからは、ウクライナ語を教えてもらいました。

そんな勇猛果敢な日本の女子高校生の話を地元メディアが聞き付け、ポーランドの新聞やテレビの取材を受け、右近さんは一躍時の人になりました。

1カ月もたつと、子どもたちや保護者、ボランティアともすっかり仲良くなりました。しかし、タイムリミットは刻々と近づいてきます。子どもたちに寂しい思いをさせたくない右近さんは、帰国のことを子どもたちに伝えませんでした。一方で、右近さんも子どもたちのためにまだまだ居続けたいという思いが絶ち切れず、親に相談しますが、学校もあったので、当初の予定通り滞在42日目、後ろ髪を引かれる思いでポーランドを後にしました。ボランティア最終日、右近さんとの別れを惜しむ子どもたちは彼女の手や服を離そうとしませんでした。

このポーランドでの一連の支援活動に寄り添ったのがヘンリックさんでした。



習字に挑戦



日本のお菓子は子どもたちに大人気



ヘンリックさんと一緒にポーランドのテレビ番組に出演

「おもしろい子が来たで、お父さん」とヘンリックさんが電話をしたのは、高槻西RC（第2660地区・大阪府）の近藤真道さん。実はヘンリックさんは元青少年交換学生（ROTEX）で近藤さんがホストファザーをしていました。「そんなおもしろい子、紹介して」と近藤さん。ヘンリックさんは右近さんに近藤さんの連絡先を渡していたのです。

さて、日本に帰ってきた右近さん。ヘンリックさんに言われた通り、近藤さんに会いに行きますが、ポーランドに行った理由を聞かれて、すぐに答えられません。しばらく考えて、「なんか、行かなきゃって思った」

そんな秘めた情熱を持つ若者の存在を知って、ロータリーの会員が動きまわります。宮里唯子ガバナーに話がいき、右近さんは第2660地区青少年交換学生としてポーランドに派遣されることが決まったのです。スポンサークラブは大阪RC。ホストクラブはヘンリックさんが所属するプロツワフRC（第2231地区・ポーランド）。両クラブは、ウクライナ難民や戦争遺児のいるポーランドの児童養護施設と一緒に支援しています。ロータリーの青少年交換プログラムが巡り巡って、新たに若いリーダーを世界へと羽ばたかせることとなりました。

この夏から1年間、右近さんは再びポーランドを訪れ、現地の学校に通いながらウクライナの子どもたちに再び笑顔届けるに違いありません。



一緒に遊ぶことで、ウクライナの戦地から逃れ、傷ついた子どもたちの心を癒やします

学ぼう! Rotaract ③

ローターアクトの例会に行ってみよう!

ローターアクトはどのような活動をしているのでしょうか。ローターアクトのリアルをのぞいてみましょう。



ヤンさん
友ノ南
RAC会長



鷹梨さん
友ノ南
RAC会員



宝地さん
友ノ南RAC会員
放任主義



高杉さん
友ノ西RAC会員
地区ローターアクト
委員会共同委員長

イラスト：ライトマン

ある日のローターアクトクラブの例会にて



宝地 ここがローターアクトクラブの例会場か。コミュニティセンターの一室でしてたんだね。あ、これ今月の『ロータリーの友』。うちのローターアクト委員長が持ってけて。どうぞ。



ヤン ローターアクトクラブの例会へようこそ。『友』もありがとうございます。ロータリーの情報が載ってて、とても参考になるんです。

宝地 じゃあ、また持ってくるね。で、例会参加費はお幾ら?

ヤン 今日は飲食なしの例会なので、ビジターフィーはローターアクトもロータリアンも 500 円です。

宝地 ビジターフィー? あ、メイクアップ料のことね。じゃあ、ニコニコと合わせて 3,000 円。

ヤン ありがとうございます。どちら

も奉仕プロジェクトに使わせてもらいます。それから、飲み物は廊下の自販機で売ってますのでご自身でご購入ください。ごみはお持ち帰りくださいね。

宝地 飲食も片付けも自分たちでするんだ。

ヤン はい。資金も人も不足しているのがわれわれの課題です。今日は宝地さんが例会にいらっしゃるということで、地区ローターアクト委員長の上佐間さんのクラブがスポンサーをしている友ノ西ローターアクトクラブ (RAC) の高杉さんも来てくれています。



高杉 宝地さんにローターアクトを紹介してくるよう仰せ付けられました。

ヤン 高杉さんは地区ローターアクト代表で、地区ローターアクト委員会の共同委員長もしているんですよ。

高杉 この数年でローターアクトも地区の委員会に入るようになってきています。

宝地 へー。地区の会合にローターアクトも本当に参加してるんだ。それにしても、みんな遅いね?

ヤン さっきからいるこの 4 人がオールメンバーです。今日は宝地さんがいらっしゃるというので、全会員挙げての出席です。あ、鷹梨さん、お久しぶり!



鷹梨 お久しぶりです。今日は宝地さんがごちそうしてくれると聞いたので久しぶりに例会にきました。

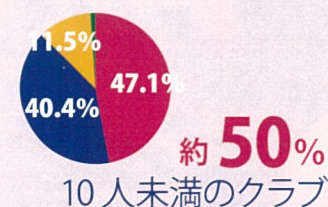
宝地 え、僕がおごるの? ところで会員 4 人でフルメンバーなの?

ヤン 昼間は働いていたり学校があったり、子育て中の世代だったりするので、入退会する人が多くて。例会だけはなんとか続けていますけど。

宝地 そりゃ奉仕活動したくてもできないね。スポンサークラブからの支援はどんな感じなの? って、僕のクラブのことなんだけだね。

ヤン 毎年 30 万円ほどの予算がつい

あなたのクラブの会員数は?



- 10 人未満
- 10 人以上 20 人未満
- 20 人以上 30 人未満
- 30 人以上 40 人未満
- 40 人以上 (回答数: 104 件)

年会費はいくらですか?

(年会費のあるクラブ。入会金は除く)



- 1,000 円未満
- 1,000 円以上 ~ 3,000 円未満
- 3,000 円以上 ~ 5,000 円未満
- 5,000 円以上 ~ 1 万円未満
- 1 万円以上 (回答数: 94 件)

支援金は年間いくらですか?

(ロータリークラブから支援金のあるクラブ)



- 30 万円以上
- 20 万円以上 ~ 30 万円未満
- 10 万円以上 ~ 20 万円未満
- 5 万円以上 ~ 10 万円未満
- 5 万円未満 (回答数: 100 件)

『ロータリーの友』2020 年 5・6 月合併号、ローターアクトクラブアンケート結果より

ています。会員が30人いた頃は、イベント実施や奉仕活動に使っていたんですけど。

宝地 今も30万円？ 会員4人で？
何に使うの？

鷹梨 会員が多かった時は僕も例会出席率は良かったんだけどなあ。あの頃はいい時代だったよね。

ヤン 実は以前そういうことが問題になって、今は活動の内容を事前にロータリークラブの人に報告してから、活動費を頂くことになったんです。でも4人では満足な活動ができないのが現実です。

宝地 とにかく、まずは会員を増やさないと話にならないね。

高杉 会員増強に悩んでいるクラブは多いですね。私たちのクラブは、スポンサークラブが熱心なこともあって、ロータリアンの家族や社員を中心に、また一般の会員もいます。

鷹梨 高杉さんのクラブは街にあるから、人が集まりやすそうだしな。

高杉 私たちのクラブは、ローターアクト独自のイベントがあったり、ポリオワクチン接種でロータリアンに同行したりと目玉となる活動がいくつかあります。ロータリアンと活動することで多くのことを学んでいます。

ヤン 私たちのスポンサークラブは放任主義だからな～。会員が少なくなっても知らんぷりだし、奉仕活動にも誘ってくれないし。

鷹梨 おごってくれないし（笑）

宝地 分かった、分かった。今度から活動がある時は声をかけるよ。それと、会員を増やすために一緒に考えていこう。

ヤン 今、国際ロータリー(RI)では、世界のローターアクターの数を2029年までに100万人に増やすことを目標にしているみたいですけど、会員数さえ増やせばいいと考えているわけじゃないですよ。それなら、今いる私たちのことを大切にしてくれないと。RIは私たちローターアクターをどうしたいんでしょうね。ぶつぶつ。

宝地 もちろん、将来ロータリアンに

ローターアクターからロータリアンへ



鈴木 俊一

第2520地区2021-22年度ガバナー
(仙台南RC)
仙台RAC元会員

ローターアクトクラブに勧誘された当時、出身地・仙台へ転勤で戻ったばかりでした。クライアントの社長から、ある青年の交流サークルへの入会を勧められました。出張が多いため断っていましたが、会うたびにあまりにも熱心に勧誘されるので「他の人を紹介します」と安請け合いをしましたら、「どんな会か分からなければ紹介できないだろうから、一度だけ例会を見てほしい」と社長。それで例会を見にいったことがきっかけで、仙台RACへ入会することになりました。

提唱ロータリークラブの例会・行事にも何度か参加しましたが、いつも会員の方々は、相手に思いやりの心で奉仕活動をされていました。

80歳を超えたロータリアンからも、孫ほど年齢の離れた私へ、敬称「さん」付けの丁寧語で声をかけて

いただきました。

ロータリアンの常に紳士的な言動に対して、とても感動を覚え、将来機会があればロータリークラブのメンバーになりたいと思いました。

時がたち、転職して独立し、自分の会社を設立してからですが、ローターアクトクラブの活動でお世話になったロータリアンと偶然、街でお会いしました。その折にロータリークラブへお誘いいただき、入会して今日に至ります。

第2520地区(岩手・宮城)では、ローターアクトの卒業生の中からロータリアンとなったメンバーも年々増えてまいりました。

皆さまも若者に声をかけて、ローターアクトクラブにお誘いください。活動を見ていただければ、いつの日かわれわれのメンバーとして加わってもらえると信じます。

なってほしいというのもあるだろうね。でももっとポジティブに考えることもできるんじゃない？

ヤン 確かにそうなんですけれど、次々年度は、このクラブから地区のローターアクト委員長を出すことになっています。ロータリーの素晴らしい経験ができるって言われてローターアクトクラブに入ったのに、何も分からないままプレッシャーばかりが。

高杉 私たちはロータリアンから学びを得たいと思っています。ローターアクターの立ち位置が定まることで、ロータリークラブとの相乗効果が期待できると思います。

ヤン そう！ 宝地さん、もっとローターアクトに目を向けているいろいろ教え

てくださいよ。

宝地 わ、分かった。もっとローターアクトと一緒に活動できるよう、クラブに持ち帰るよ。そういえば、『友』にローターアクトクラブの活動も掲載されているから、今度、活動したとき投稿してみたら？

ヤン だから奉仕活動できていないんですってば。

高杉 会員が少なくても十分に活動ができていないクラブは全国にたくさんあるようです。そのことを『友』に投稿したら、ロータリアンがいいアイデアを出してくれるかもしれないですよ。
ヤン あ、そろそろ例会を始める時間です。(次号に続く)

* 2023年3月15日現在の会員数は17万4,895人



3.11

被災地をこの目で見よう

ローターアクターが、
震災の爪痕が残る福島を訪問



当事者以外から薄れつつある震災の記憶

東日本大震災から12年。震災を経験していない人が増え、その時の記憶が風化してきていると感じ、震災を再認識する例会の企画が始まりました。きっかけは、東京オーキッド世田谷南ローターアクトクラブ（RAC）の相楽佑加^{さからゆうか}会員が福島で被災し、「あの出来事を忘れてはいけない、私が経験したことを伝えたい」と考えていたこと。その熱い思いに胸を打たれたメンバーが集まり、実現に向けて動き出しました。わが東京池袋豊島東RACの企画に、第2530地区（福島県）、仙台RAC、静岡RAC、東京オーキッド世田谷南RAC、鴨川RACが賛同し集まりました。

本例会の目的は二つあります。一つ目は、クラブや地区を超えたロータリアン、ローターアクターが3月11日に福島県浪江町^[1]に集結し、同じ時間を共にすることで、「震災の爪痕を体感し、震災を風化させてはならない思いを強く感じてもらう」ことです。すでに震災をあまり知らない若い世代が、ローターアクトクラブの会

員になってきているということが背景にあります。

二つ目は、被災地の現状を自分の目で見て、被災者の声を聞き、「私たちに何ができるのか？」を考えるきっかけをつくることです。

1日目は、請戸^{うけど}小学校を訪れ、地震発生時刻に参加者全員で黙とう。校舎の至る所に残る大地震、津波の脅威を体感しました。2日目は浪江町と双葉町^[2]をガイドの案内で視察。東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れ、その後、参加者で対話の集会を実施しました。

地震大国日本。私たちは東日本大震災での大きな被害を忘れてはなりません。震災から時間がたち、報道などで取り上げられる機会も少なくなり、記憶は薄れていています。しかし被災地ではまだまだ復興の半ば。私たちの世代が起きたことを正確に理解し、伝承することが重要だと感じました。

東京池袋豊島東RAC 山崎 帆洋

主なプログラム

震災遺構見学

浪江町立請戸小学校に残る地震と津波の脅威を見る。地震発生時刻に参加者で黙とう。東日本大震災・原子力災害伝承館では事故の状況、原子力発電の過去と今後の見通しを学習。

フィールド視察

浪江町、双葉町では現地ガイドの案内により、地震、津波、原発事故の被害について学び、復興の最前線を見る。大平山霊園で犠牲者に献花。

対話の集会

グループに分かれ、学びや気づき、疑問点などを共有する座学。テーマを設けて自分のできることを考えた。



浪江町立請戸小学校（震災遺構として一般公開）では、地震発生時刻の午後2時46分に合わせて犠牲者に黙とうをささげた。



天井の鉄筋も崩れ落ちている職員室。校内の一部は通路が整備され、見学ができる。



懇親プログラムとしてアイスブレイクと防災ゲームを行い、グループで競い合った。参加者の緊張もほぐれ、笑みがこぼれる場面も。

Interview — 運営メンバーに聞きました —

鈴木沙也佳（仙台RAC）

月日がたっても、震災関連の情報は避けていました。被災地域に住み続けているながら、福島県や原発で何があったのか、知らないことばかりでした。学ぶ機会を得たことで、一歩前へ進めたように感じます。福島県全体ににぎわいが戻ることを願っています。

佐藤 正治（喜多方RAC）

震災から12年たった現在の福島の現状を改めて考えるきっかけになり、これからの社会を担っていく身として、復興の先にあるものを見据えながら行動していきたいと実感。ローターアクトが一丸となって福島の未来に向かって取り組んでいければよい。

富永 里紗（静岡RAC）

それまでオンラインだったため、皆さんに会ったのは当日が初めて。震災を学ぶことが一番の目的でしたが、同世代の運営メンバーたちが、忙しい中でこの企画に情熱を傾け、各地で準備をしたり指示を出したりしている姿を見て大きな刺激を受けました。

武藤 由莉（東京オーキッド世田谷南RAC）

震災の被害に遭った人と、そうでない人との溝が、10

年以上たった今、より深いものになっていると感じました。だからこそ、事前の学習例会と、福島での体験を通じて、私たちが学んだことを生かし、両者をつないでいくことが大事だと思います。風化させないための次のステップを模索、実行し、伝え続けることが大事です。

相楽 侑加（東京オーキッド世田谷南RAC）

福島出身の私が、震災をあまり知らない同世代の人と福島で活動できたこと、ローターアクトとして久しぶりにその力を最大限活用できたことは、自信につながりました。私は被災者であり、震災を知らない同世代との溝を大きく感じながらも、その溝を少しでも埋めるべく、それぞれが震災と向き合えた例会だったと思います。今後も記憶を風化させないように、伝え続けていく意義を、私は強く実感しました。

川名 清登（鴨川RAC）

地震から12年たった今回、初めて被災地を訪れました。テレビの報道でしか見たことのなかった福島での出来事でしたが、改めて震災について学ぶ機会になりました。ローターアクトだからできることを考え、積極的に行動していきたいと思いました。

- [1] 浪江町は海岸に面し、地震発生時には町内で震度6強を観測。地震、津波により死者・行方不明者を出した。原発事故の影響により町の大半が帰還困難区域に指定。今も避難指示解除を待つ区域が残る。
- [2] 双葉町は浪江町の南側の町。隣接の大熊町とまたがるかたちで東京電力福島第一原子力発電所が立地する。事故による放射能汚染でほぼ全域が帰還困難区域に。2022年に住民の帰還が始まるが、町外の仮設住宅へ避難した住民の帰還は思うように進んでいない。

感動、感激、そして感謝 のロータリークラブ！

第 2650 地区 福井・京都・奈良・滋賀

尾賀 康裕ガバナー（近江八幡 R C）

「こないだ、モンゴルのウランバートルに行ってきたんやけど、そこのゲル地区で見た子どもたちに、ロータリーとして何か支援することができへんやろか？」「なんやねん、そのゲル地区ちゅうのは？」「ゲルに住んで、すごい貧困層の集落で、そこの子どもたちの生活環境をちょっとでもよくしたいねん」

こんな会話を当クラブで交わしたのが 2015 - 16 年度、際田博己会長の時。言い出したのは岡村遍導会員。近江八幡市・観音正寺のご住職です。クラブとして、国際交流は毎年行っていましたが、私たちにとって、国際的な奉仕活動は初めての経験になります。

これはグローバル補助金を使うしかない、使ったことはないけど、何とかこれをものにしよう、やり切ろう!! クラブを挙げての大事業が始まりました。

岡村会員をリーダーに、私もプロジェクトメンバーの

一員として、ウランバートル R C と打ち合わせなどのため、3 回、モンゴルへ出向きました。2 回目訪問時は、何とモンゴル入国午前 0 時 2 分、出国 23 時 57 分。パスポートには、同じ日に入国と出国をしたスタンプが残っています。支援は紆余曲折を経て 4 年がかりとなり、最終的にウランバートルの母子病院へ、大がかりな浄水器を寄贈することができました。生まれたばかりの赤ちゃんに、きれいな水で作ったミルクを飲んでもらえると思うと、今でも涙が出るほどの感激と感動です。

寄贈調印式は 2018 年 4 月。奇しくも、私がクラブ会長の年度に実施していただきました。関係者の皆さんに、心から感謝をする経験でした。

（石油製品販売）



2018 年 4 月、ウランバートル母子病院での寄贈調印式。左から病院ゼネラルディレクター、ウランバートル R C 会長、私

小さな背中を目にして

第 2660 地区 大阪北部

宮里 唯子ガバナー（茨木西 R C）

昨年の春、ガバナー就任直前、この写真がポーランドのロータリアンから届きました。多くの避難民の不安や悲しみを写した数ある写真の中の 1 枚です。ウクライナのおそらく 2 ~ 3 歳児で、体に直接文字が書き込まれています。この子を連れて逃げてきたお母さんが書き込んだそうです。もし、逃亡中に自分が爆撃で死んだり、行方不明になってこの子が一人残されたら、助けてくれるかもしれない人に出生が分かるように、と。

この小さな背中を目にした時、涙が止まりませんでした。そして、怒りとともにロータリアンとして、ガバナーとして、ウクライナ支援を必要な限り、継続することを心に誓いました。また、ロータリアンであるからこそ、できる支援があることを大変幸運だと自覚しました。

ロータリー会員となって 30 年近くたちましたが、人道的国際奉仕や、社会奉仕活動を恒例事業のように、責

務のように果たしている自分を深く反省し、何のための活動なのか、支援なのか、奉仕を届けるべき人々を、わずかな支援でも救われる人々を常に思い、心を込めた活動をしていきたいと思わせてくれた、まさに私にとってのロータリー・モメントでした。

悲しいことに、今回のようなモメントは東日本大震災の時もありましたが、自然災害では怒りより悲しみを先に覚えます。

一方、ロシアのウクライナ侵攻には怒りと、同じ過ちを繰り返す人の愚かさを感じ、情けなくなります。これからも被災者に寄り添い、誠心誠意、ロータリアンの務めを果たしてまいりたいと思います。（環境衛生管理）



義務感ではなく、心に寄り添った支援を誠心誠意届けたい

『心地よさと配慮』 その通り

第 2670 地区 愛媛・香川・高知・徳島

八田 光ガバナー（高松北RC）

昨年 11 月 21 日、神戸でのロータリー研究会の午後第 1 セッションで、四国 4 県の当地区は、10 月の世界ポリオデーに実施の「四国八十八カ所ポリオ根絶祈願」や、医師・尾身茂氏出演も得た、地区制作のロータリーのポリオ根絶活動の紹介ビデオについて発表しました。

発表前の参加者全員での昼食時のことです。ジョーンズ R I 会長の席もほど近く、私が会長との写真を撮ってもらおうとした時、「R I 会長にはゆっくり昼食を取っていただきたいので、写真タイムは昼食後に設けます」とのアナウンス。しかし昼食後、私はセッションでの登壇のため、お遍路さんの衣装に着替える必要がありました。戻ってくると、何と写真タイムは終了。R I 会長は次の行事の打ち合わせでしょうか、大勢の日本人スタッフと円形テーブルを囲み、真剣にやりとり中でした。

そこへ、その場の雰囲気を読めていないお遍路姿の私

が「写真をお願いします」などと言って、のんきに現れたものですから、スタッフはびっくり仰天されたと思います。「写真タイムは終了しました。すみません、邪魔されないようにお願いします」「もう会議に入っているの、またの機会に」。ごもつとも。R I 会長が疲れないように配慮されての言葉に、私がしょんぼりと立ち去ろうとした瞬間でした。R I 会長が気付かれたのか、ニコリとして立ち上がり、私の背に手を回し「写真を撮りましょう！」と言ってくれました。

『心地よさと配慮』の模範を示してくれましたねえ、と会長エイド夫人が、R I 会長テーマ発表講演の時の言葉を私にささやいてくれました。^{しか}然り。（経営相談）



R I 会長は両手にお遍路。左が私、右は坂出東 RC の大屋聡規会員

人との出会いに感謝 そして感動（一期一会）

第 2680 地区 兵庫

阪上 栄樹ガバナー（宝塚RC）

1993 年 4 月にロータリークラブに入会して、30 年が過ぎました。入会当時、最も強く言われたことは例会への出席。今も心に留めて守っており、100%連続出席を続けています。振り返ってみると、入会以来、多くの異業種の方々との出会いに恵まれ、いろいろと助けてい



ロータリー研究会で R I 会長と（私は左）

ただいていることに気がきます。もし、ロータリアンになっていなかったら、今の私はないと思っております。ロータリーの仲間がいたことで道が開け、心豊かな生活を送ることができているのでしょう。

ガバナーノミニー就任以降は、実に多彩な地区活動を経験させていただきました。コロナ禍の影響で、2～3 年のブランクがあるにもかかわらず、ガバナーエレクト主催行事、ガバナー年度の公式訪問や各種行事も、何とかこなすことができました。これらは今後も日々、大きく支えてくれている地区委員会のメンバーはもちろんのこと、ホームクラブの仲間たち、ガバナー事務所職員らに恵まれたおかげです。彼ら彼女らなしでは、私はここまで来られなかったと思っています。

今、一番強く心に残っていることは、昨年 11 月に神戸で開催されたロータリー研究会です。ジョーンズ R I 会長と、そして京都 RC の千玄室宗匠ともお話しする機会が得られたのです。裏千家十四代家元・淡々斎宗匠の直弟子・曾根宗美先生に学生時代から茶道を学び、宗樹という茶名を頂いている私にとって、千玄室宗匠が「いつでも何でも言ってよ」と親しくおっしゃってくださったことは、本当に深く心に残るものでした。ロータリーでの豊かな多くの出会いに、感謝しています。（樹木医）

父を変えた 「四つのテスト」

第 2690 地区 岡山・島根・鳥取

友末 誠夫ガバナー (津山RC)

鶏卵商品化に特化した、食品生産自動機械装置の製造販売事業を行っています。創業のきっかけは私が 14 歳の時に手作りした小さな装置が、大手新聞社主催の全国学生児童発明工夫展で内閣総理大臣賞を受賞したことが新聞報道され、問い合わせが殺到。これに反応した母は、装置の商業生産事業化に猛進、私を商業生産用の見本機の製作に従事させて、1959 年に会社を創業。

母は父・弘を社長に据えましたが、研究者肌の父は企業経営には関心を抱きませんでした。自宅の離れで、化学技術研究に日々を費やしていた父が変化したのは、1970 年代の中頃。旧友に誘われ津山 RC の会員になり、入会記念に得た「四つのテスト」が父を変えました。

事業の伸展に伴い、従業員数も 50 人と増加、父は率先して毎週月曜日を朝礼日と定め、従業員と一緒に「四つのテスト」の唱和を始めました。事業経営に無関心だ

った父が目覚めた、記念すべき出来事でした。

1980 年代に入り、自宅に隣接する限られたスペースでは事業の将来は展望できないと判断した私は、5 年の歳月をかけ、1985 年、高速道路のインターチェンジに近い場所へわが社を総合移転しました。

父はこの移転を記念し、「四つのテスト」を参考に「社業の四つのテスト」と称する指針を作成し、「四つのテスト」と並べて額に入れ、毎回の朝礼で 70 人に増えた従業員一同との唱和を改めて再開しました。

ロータリーの「四つのテスト」は、父を経営者へと方向付けてくれたのです。これが私のモメントです。(食品機械製造)



四つのテストと父作成の社業の行動指針

「それなら」と手を 挙げたら……

第 2700 地区 福岡・長崎・佐賀

西島 英利ガバナー (小倉南RC)

「小倉南 RC からガバナーを」という話は過去、何回か来たようですが、誰も手を挙げず今に至り、そして今回。「何もすることはないので、ガバナーに手を挙げてくれ」と言われ「それなら」と手を挙げたら……。

当地区は現在 60 クラブを擁し、公式訪問開始前は内心「大変な仕事を引き受けたな」。しかし、実際に回ってみれば各クラブの特徴あるロータリー活動に接することになり、公式訪問は逆に楽しい時間に。

特に思い出深かったのは島のクラブです。当地区には、魚料理がとてもおいしい壱岐と対馬があります。もともと、会合があれば懇親会で歓迎の気風ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で諸事ストップしていたとか。そこへもって、私の壱岐のクラブへの公式訪問は合同形態。3 年ぶりの懇親会には、本当に大勢の会員が参加されました。島内には麦焼酎の造り酒屋が 7 社あり、その

全てがロータリーの会員でしたから、乾杯は 7 社のおのの焼酎を取り混ぜての乾杯、その後はそれぞれの会社の焼酎を頂く、楽しい一夜となりました。

柳川の地には 2020 年 10 月、美容専門学校で構成されるローターアクトクラブが誕生。今年に入り会員が 500 人を超えるなど、成長を続けています。延期されていた加盟認証状伝達式は、辰野克彦元 RI 理事、佐藤芳郎 RI 理事も参加、昨秋盛大に行われました。

この日は柳川名物の舟での川下りに、500 人を超える来訪者と約 3,000 人の柳川市民も参加するなど、一般市民もロータリアンも共に楽しむ一日となりました。ガバナーになって楽しいモメントが増えます。(精神科医)



柳川名物の舟での川下り時には、ポリオ根絶もアピールする一日

奉仕活動を通じて絆を

第 2710 地区 広島・山口

石川 良興ガバナー（徳山RC）

私は 1969 年から、医師として人工透析治療一筋に古希まで働いてきました。ロータリーへは、息子夫婦が病院を引き継いでくれたのを機に、入会しました。

入会前にも、地域の博物館に噴水や本を、県立高校へオブジェを、市立図書館に「石川文庫」、山口県透析研



タイでの国際奉仕はロータリーの絆を体感（私は和服、左から 2 人目）

究会には、石川記念奨励賞などを贈ってきました。ロータリー入会後は「疾病予防と治療」のために冠名基金を設立しています。このように、自分にできる限り、寄付行為を続けてきましたが、クラブ会長時代、タイとベトナムへ 2 度、9～12 人体制で訪問しました。

タイでは、小学校に井戸水の浄化装置を贈るプロジェクトを展開。その時にお世話をしてくださったのがバンコク・スリウォンRCです。寄付先の小学校の選定から寄付器具の設置、機械のメンテナンスの指導、贈呈式と歓迎会での温かいおもてなしには、感服しました。これこそロータリーの目に見えない強い絆だと体感しました。その時お世話してくださった会員が、2022 年 2 月の国際協議会で、何とガバナーエレクト。驚きました。その後、東南アジア地域で日本語の通じるクラブを創立するべく奔走されています。

また、4 月に友好関係にある韓国・第 3690 地区から地区大会の招待を受けた時には、米山奨学生のカウンセラーとしてお世話した韓国の方が、喜んで同行してくれて、通訳など諸事助かりました。

今後もロータリーの絆を通して、健康寿命を延伸し、特に疾病と環境、そして平和を対象として、さらに力を注ぎたいと思っています。（内科医）

熊本マチナカ音楽祭×世界ポリオデー

第 2720 地区 熊本・大分

堀川 貴史ガバナー（熊本南RC）

2022 年 10 月 22～23 日の 2 日間、熊本市の中心部、花畑広場にて、約 3 年ぶりとなる「熊本マチナカ音楽祭」が開催されました。その音楽イベントに協賛する形で、私も第 2720 地区の「世界ポリオデー」のイ



熊本市街をロータリーの思いが真っ赤に染めた秋の日のモメント

ベントを展開しました。

当日は、音楽祭会場の花畑広場だけにとどまらず、さらに、繁華街へと続くアーケード、サンロード新市街から下通りへと、ロータリアンはもちろん、ローターアクター、インターアクトの生徒さん、ロータリアンのご家族など、総勢 300 人を超える方々に、参加していただきました。日頃は多様性を強調している私でしたが、この日ばかりは、参加した大人にも子どもにも、おそろいの真っ赤なポリオ根絶の T シャツを、着ていただきました。

文字通り、熊本の中心部が、真っ赤な T シャツを着た人々で埋め尽くされた光景が、私の目の前に広がります。大人も子どもも関係なく、笑顔で、街を歩く熊本市民に大きな声で、ポリオ根絶を呼びかけている姿を見ると、感動して涙があふれてきました。改めて、ロータリーのチカラ、すごさを体感することができました。

特にローターアクター、インターアクター、もっと小さな子どもたちが一生懸命に取り組む姿には、人々に感動と賛同を与え、世の中を変える原動力になり得る、と本気で感じる瞬間がたくさんありました。若者たちに明るい未来、夢、希望を約束し、これからもさまざまな機会を提供していく責任を痛感しました。（建築資材配布）

ロータリーでの素晴らしい出会い

第 2730 地区 鹿児島・宮崎

山ノ内文治ガバナー（鹿児島 RC）

ガバナー就任後、公式訪問を完遂し、11 月の地区大会も素晴らしく「イマジン ロータリー」を実感する感動の大会に。同月、神戸ではロータリー研究会が開催され、日向 RC が先端的な取り組み・海中の藻場を育成するブルーカーボン事業を発表しました。もう一つ、私の楽しみはここで、R I 会長にお会いすることでした。

昨年 2 月の国際協議会はオンラインでしたが、その中で、ジェニファー・ジョーンズ R I 会長から、私の好きな往年のジャズミュージシャンのドラマー、メル・ルイス氏の話が。何と、ラジオ番組を通じ親しくなり、励まされたとのこと。そしてルイス氏のラストコンサートへ行き、終了後に控室を訪ねると、そこにはフランク・シナトラ、サミー・デイヴィス Jr.、ライザ・ミネリが、一緒に演奏していた頃の思い出を語ってくれたとのこと。R I 会長と趣味が一緒なんて、まさにつながりを共

有した時間。この夜のことは一生忘れません。

このようなあっ！ という瞬間により私たちの人生には活気が生まれ、忘れられない瞬間によって、人は生きていきます。パートナーとの出会い、初めて車を運転した時。わくわくする気持ちが、どんなことも可能なのだと感じさせてくれます。R I 会長は、ロータリーはこのわくわくする感覚を自分に与えてくれる、と言っていました。共感です。聞きながら私も、その感覚を覚えしました。ロータリーは本当に不思議な力を持っています。

研究会当日、私はルイス氏のレコードを持って行き、R I 会長にサインを頂きました。

ロータリアンで良かったな。（電気設備工事 配電盤制作）



ロータリー研究会で。メル・ルイス氏と結ばれた私たち

歴史と伝統を基に明日を開くロータリー

第 2740 地区 長崎・佐賀

上村 春甫ガバナー（佐賀 RC）

私は 29 年前、ロータリアンとなりました。当時、佐賀県医師会会長で、佐賀 RC 第 9 代会長にして P G、外科医の父の先輩でもある児玉来三先生と、やはり P G の佐賀西 RC の整形外科医・草場立太郎先生から入会を勧められました。今は故人となられたお二人から、その

時に頂いた「ロータリーの歴史と伝統をしっかり受け止めて、明日を開くロータリアンたれ」との言葉には、い

たく感動しました。
私は佐賀の地に生まれました。写真バックの^{どんちよう}綴帳に織り出された鍋島直正^{かんそう}（閑叟）公は、島義勇^{よしたけ}、佐野常民^{つねたみ}、副島種臣^{たかとう}、大木喬任、江藤新平、大隈重信らを率い幕末、佐賀の歴史と伝統を基に藩の近代化に努めました。彼らは直正公を筆頭に「佐賀の七賢人」と呼ばれています。公は医学の近代化にも注力、種痘の実施や医学寮・好生館も設置しました。私の先祖のことで恐縮ですが、医業の家としての上村家初代の上村春庵は長崎で蘭学を学び、259 年前に佐賀鍋島藩典医に召し抱えられ、国産薬種の仕立てに尽力しました。五代春庵が、先の好生館設立の指南役を拝命しています。また、六代春甫（私と同名）はここで教師を務め、県立病院好生館となつてからは分院長等を歴任した後、佐賀市内に開業しました。

このように、私の生まれ育った環境に「歴史と伝統を受け止めて明日を開いた」例が多くあったことから、児玉先生、草場先生お二人の言葉が深く心に刺さっている次第です。今後も「歴史と伝統をしっかり受け止めて、明日を開くロータリアンたれ」を胸に精進していきたいと思

います。（循環器科医）



「鍋島閑叟公於御前世嗣子淳一郎君種痘之図」綴帳の前（私は中央）

共に楽しもう ロータリーという贈りものを



私たちは皆、入会を勧められてロータリー会員となり、
これが素晴らしい贈り物だったことを知りました。

My ROTARYの
「会員コーナー」から入会候補者を紹介して、この贈り物を
多くの人と分かち合いましょう。

入会候補者をご紹介ください

my.rotary.org/ja/member-center

カナダ・アルバータ州

米山から世界の町へ (23)

— カナダ西部の州。州都はエドモントンで、州内最大都市カルガリーは交通の要所であり、カナダを代表する商業都市です。



米山奨学生・米山学友の近況を、その故郷や、今、暮らしている町とともに紹介するシリーズです。今回の紹介者は……

エリザベト音楽大学 音楽講師

広島女学院大学・安田女子大学・近畿大学・
広島文化学園大学 英語講師

コール, ジョン・ジェームス さん

(カナダ / 2002 - 04 / 広島陵北 R C)

「Hello! (こんにちは)」

まず紹介したいのは、私が育った街、カナダ西部アルバータ州の一押しスポット・ロッキー山脈から。皆さんご存じの通り、北アメリカ大陸西側を北西から南東に走る山脈で、全長は 4,800km 以上。そのうちカナダ領内で標高が最も高いのは、ブリティッシュコロンビア州とアルバータ州の州境にそびえるロブソン山。週末のたびに家族で麓までドライブに出かけ、よく遊んだ思い出の場所です。バイソン(野牛)に遭遇したこともあり、木々や動物に囲まれ、これ以上ないほど幸せな時間を過ごしました。

育ったのはアルバータ州ですが、生まれたのは、カナダ北部のバフィン島付近にあるイカルイトです。この一帯はもともとイヌイットたちの野営地や漁場であったことから、今も人口の約 6 割がイヌイットです。私が生まれた頃はフロビッシャーベイという地名でしたが、1987 年に先住民の呼び名で魚がたくさんいる場所の意を持つ、現在の地名に戻されました。冬は氷点下 30 度を下回ることもあります。雄大な自然の中、犬ぞりに乗ったり、シロクマを見たり、今となっては非日常が体験できました。



上の写真は、フロビッシャーベイ(当時)のイヌイット。左は私の父とそりを引く犬たち

私の故郷、アルバータ州の森。澄んだ空気に癒やされます

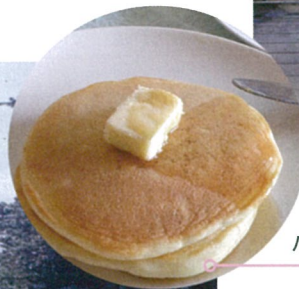


続いてはグルメについて、必ず食べていただきたいのはサーモン。カナダを代表する食べ物の一つで、特に大型がよく取れ、私の兄も特大のサーモンを釣ったことがあります。おなじみのキングサーモンの他にもピンク、チャムなど、日常的に6種類のサーモンからお好みを選ぶことができます。

もう一つ外せないのがメープルシロップです。全世界の生産量のうち約7割がカナダ産で、まさにカナダの代名詞ともいえます。パンケーキにぴったりの味で、私の家族みんなが大好きです。



幼少期を過ごしたアルバータ州の景色



兄が釣り上げたサーモン(上)と
パンケーキにはメープルシロップ



左の写真は、家族とロッキー
山脈の麓の湖を訪れた時の
もの。上は、息子たちと
桜咲く春の日本で

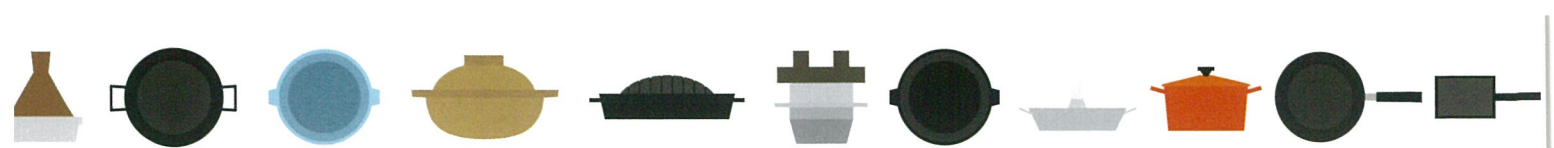
広島陵北ロータリークラブの米山奨学生になれたことは、本当に幸運でした。奨学期間を終えて20年近くたちますが、私は今も広島に住み、当時お世話になった会員と定期的に連絡を取っています。うち2人はカナダを訪れ、私の両親にも会ってくれました。作曲家を目指していた私が奨学生時代に学んだことは、コミュニティー、人間関係の重要性です。会員との飲み会はすてきな出会いと学びの場。政治や世界情勢、文化の違いについて意見を交わす良い機会でもありました。日本での「上下関係」「お返し的心」「適切な敬語」「ニュアンスの違い」などを学べたのは、まさに飲み会からでした。おかげで、日本でのコミュニティーはさらに広がったと思います。

現在は、母校である広島市のエリザベト音楽大学で現代音楽と音楽史を教える他、四つの大学で英語を教えています。また、複数の大学で使われている「MUSICALLY SPEAKING」という、音大生向けの教科書の改訂も行っています。大忙しの毎日ですが、これまでの学びを生かし、引き続き音楽や語学を通して、恩返ししていきたいです。



エリザベト音楽大学の学生たちと

※米山記念奨学事業、または「よねやまだより」へのお問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp



久保田英男（職業分類：菓子製造販売）

鎌倉RC会員。学生時から家業関連の飲食業でキャリアを重ね、現在は大学で外食・ホテル業界での就職を目指す学生たちに自分の経験を伝えている。自作のカレーを作ろうと買ったスパイスが何年も棚から動いていない。

りだったのです。

独特な香りのするパクチー、これはタイ語での名称。中国では香菜。^{シャンツァイ}西洋ではコリアンダーと呼ばれています。葉は独特な香りを持ち、香草としてさまざまな料理を引き立てます。

一方、カレーやソーセージなどのスパイスとしても利用されるのは種の部分。乾燥させたコリアンダーシードは料理のスパイスの他、シフォンケーキやピクルス、ビールなどの風味付けによく使われています。

スパイスというと高価で少し扱いが難しいもの、というイメージがあるかもしれませんが、ニンニクやショウガなど、普段、薬味として使われているものもスパイスとしての位置付けがされています。

身近なカレーライス。これもたくさんのスパイスを調合してあの味が生まれています。クミン、カルダモン、シナモン、クローブ、ローリエ、オールスパイス、コリアンダー、ガーリック……。あの独特な色を付けているのはターメリック、辛味はチリペッパー、ショウガ、ブラックペッパーなど。耳慣れないものもありますが、例えば、色を決めるターメリックは、ウコンのこと。ローリエは月桂樹^{げっけいじゅ}の葉、クローブは丁子。そう呼ぶと少し身近に感じませんか。そしてシナモンは、お菓子^{お菓子}やコーヒーによく使われますね。肉桂というクスノキ科の樹皮を乾燥させたもので、独特の甘みと香りが特徴です。

ところで、このシナモン、昔はニッ

キと呼んでいなかったか？と思われる方もおられるかと。京都銘菓に使われているアレです。シナモンもニッキも肉桂という樹木から採取されるのですが、ニッキの方は根皮から作られます。なので遠縁の親戚みたいですが、厳密には別物とされています。

勘違いだらけのコロンブス

さて、スパイスで忘れてはならないのが「胡椒^{こしょう}」。インド原産の香辛料で、広く熱帯域で栽培され、紀元前古代ギリシャで食品や医薬品として使用されていたほど歴史は古く、また貴重なものでした。ヨーロッパでは「一握りの胡椒は、同じ重さの黄金」といわれ、その小さな粒を求めて大航海時代が始まったとか。日本でも聖武天皇の七七日法要で東大寺に献納されたとの記録もあり、古い時代から世界中で使用されている香辛料の一つです。

英語の“pepper”はサンスクリット語“pippali”がなまったものだそう。一般的に「胡椒」には、ブラックペッパー、ホワイトペッパー、グリーンペッパーの3種類がありますが、収穫時期や加工方法が違うだけで、植物の種類が異なるわけではありません。またレッドペッパーは「唐辛子」のこと。全く別物なのにどうして「ペッパー」なのかというと、大航海時代、新大陸から唐辛子を持ち帰ったコロンブスの勘違い。ハバナ諸島をインドと勘違いして西インド諸島と名付けたの

と同じ理由です。チリペッパーも同じ唐辛子のことですが、「チリ」はメキシコの先住民族の言葉で、辛いを意味する chili が語源です。

ちなみに世界一辛い唐辛子は、キャロライナ・リーパー。タバスコソースより 500 倍以上辛く、ギネス認定されています。激辛好きの方で辛さに自信があっても無理はなさらないように。

ミックススパイス（配合香辛料）と呼ばれるものがあります。ガラムマサラは、シナモン、クローブ、ナツメグなどのスパイスをミックスしたもの。私たちが普段カレー粉と呼ぶものもこれに近いものかもしれません。このミックススパイスとよく間違えられるのが、オールスパイス。これはフトモモ科の植物で、果実または葉から作る単体スパイス。シナモン、クローブ、ナツメグの三つの香りを併せ持つといわれることから名付けられましたが、スパイスを混ぜ合わせたものではありません。ちなみにこれもコロンブスがヨーロッパに持ち帰った品種で、別名ジャマイカペッパー。どうやらこれもコロンブスが名付け親のようで……。

和食の調理法の特徴は素材を生かすことなので、近年までスパイスを使う習慣がありませんでした。それでも薬味という形で食材を引き立てる方法で、個人の好みに調整し、ワサビ、さんしょうなど独自のスパイスを育ててきました。グローバル化が進む世の中ですが、ローカルも大切にしたいですね。

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

ROTARY 5月号から

PHOTOGRAPHS: COURTESY OF INTERACT CLUBS

2022年インターアクト賞に向け、300以上のインターアクトクラブが自分たちの成果を紹介するビデオ、写真、エッセーを提出しました。今月は、コンテストの参加クラブの中から一部のクラブをご紹介します。受賞者の情報は on.rotary.org/2022interactawards をご覧ください。

イギリス

ウェールズのクローサーシリオグスクール・インターアクトクラブ（IAC）の会員は、家族や友人、教師に依頼して毛糸で花模様やハート、チョウなどのデザインをイギリス伝統のかぎ針編みで編んでもらい、その作品を見た人が元気になるようなメッセージを添え、市内の名所などに設置。クラブの顧問でヘンリーズ・ロータリークラブ（RC）会員のブリッティ・デイヴィスさんは、「私たちのフェイスブックページでは一般の人たちがかぎ針編みの作品の写真を投稿できるコーナーを設けています」と話します。昨年の夏にインターアクトクラブが発足後、フードバンクのためのカレンダーや品々を何百と集めるために会員たちは世代を超えたお茶会も開催しています。



1847年

イギリス初のかぎ針の特許が発行された年

ネパール

カトマンズのゴールデンゲート・インターナショナルカレッジ IAC は、インクルージョンを育むことを目的に、7月、地元スポーツクラブの代表者と共に卓球大会を開催。約200人が参加しました。イベント名は、三つの聖なる川の合流点を意味するサンスクリット語「トリヴェニ」。多様性、公平さ、インクルージョンという三つのテーマをプロジェクトに統合したことから、その名を付けました。



自分の体形に不満がある
中国の子どもの割合 **67%**



1.9% ネパール国内で障害がある人の割合(2011年)

65万7,000人以上

ニュージャージー州内の食料
不安を抱える人の数 (2020 年)

アメリカ

新型コロナによって広がった食料不安に対応するため、ニュージャージー州のマディソン IAC は、2020 年 7 月、食料配給所を支援しようと、「マディソン飢餓終結プロジェクト」を開始。マディソン高校の生徒たちはオンラインでアンケート調査を実施。その結果から各家庭、企業のドア付近に食品を袋に詰めて置いてもらうようにしました。インターアクターや保護者、その他のボランティアは、アプリを使って効率的なルートを設定し、置かれた食品

を集荷、100 以上の家族や企業から 3,500 袋以上の食品が集まりました。また、募金サイトを通じて約 4,500 ドル (約 60 万円) が集まり、別の食料配給所に寄付することもできました。マディソン RC 会長のダグ・ウイリスさんは「このプロジェクトを高く評価しています。私たちが協力したチームでは、家族から寄せられる支援や子どもたちの意欲が、尽きることはありませんでした」と話します。



中国

ダリッジカレッジ上海浦東 IAC の会員が、在校生にアンケートを取った結果、多くの生徒が自分の外見に不満を抱き、悩んでいることを知りました。そこで 3 人の会員が自分の体への肯定感を推進するためのグループを結成し、インスタグラムのアカウントを開設。健康に関する情報やデータをわかりやすくデザインし、専門の

カウンセラーがいるヘルプラインへのリンクを付けました。また、会員たちは、校内のトイレに、マーカーで励ましのコメントを書いた「ミラーメッセージ」を設置。「複数の生徒が、私たちのメッセージを広め、ビジョンの普及に協力したいと言ってくれるなど、ポジティブな感想をもらった」と会員は述べています。



297

パナマの絶滅危惧種の数

パナマ

ペノノメ IAC の 12 人の会員が、1 月、地元コクレ県リオ・ハトの海岸に集まり、ロータリアンや他のボランティアと一緒に 20 袋分のごみを撤去しました。「海岸はレクリエーションの場であると同時に、絶滅の危機に瀕している多くの動物種の生息地でもあるため、このプロジェクトを実施することにしました」とクラブ会長のアレハンドラ・ロドリゲスさんは話します。また、クラブは以前から、学用品やおもちゃを詰めたりリュックサックを子どもたちに提供したり、子どもたちが通う学校でのファミリーデーを開催したりしています。

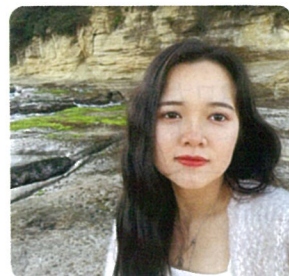
教育が人生を変えていく

米山奨学生 グエン ゴック タン ガン

米山奨学生に選ばれたことが私の人生の大きな分岐点になりました。以前は生活費や学費のために毎日アルバイトで何時間も働いていましたが、今はその時間を勉強に使うことができます。また、いろいろな場所に行く機会が増えるなど、生活が大きく変わりました。米山奨学生の友達もできました。優秀な皆さんと接していると、自分の知識をもっと増やさないといけない、と私の向上心にもつながっています。そして、教育は人生を変えられると学びました。

母国ベトナムの教育の現状は厳しく、未成年で退学、または教育が受けられない人が24%もいます（2022年調査）。子どもたちが学校に通えない最大の理由は貧困です。貧しい家庭では子どもに通学をやめさせて、労働力に替えていくことがよくあるのです。

私は歌手・シャキーラさん（コロンビア出身）が「子どもたちの生活を改善するために一番確実な方法は、教育だと確信する」と語った動画を見てとても心に残りました。ベトナムにも彼女と同じ考えを持つ人がいます。「全ての子どもは学校に通って学ぶ権利を持っています」とホーチミン市のサイゴン・ロータリークラブの会長は語り、未来を改善しようと、貧困家庭の子どもを中心に教育支援活動をしています。自分もいつかベトナムに帰って、ホーチミン市だけでなく他の地域の貧しい子どもたちにも教育を受けさせたいです。彼らの将来を変えられるよう、自分もロータリーの活動に小さいながらも力を注いでいきたいと思っています。



ベトナム出身。周南公立大学福祉情報学部メディア情報専攻4年。奨学期間：2022年4月～23年9月。世話クラブ：徳山RC。趣味は旅行と読書。

美を術でつくる

米山奨学生 李 光宗



私は2015年に中国の中央美術学院を卒業し、来日して留学生生活を始めました。日本語学校を経て、芸術系の大学へ進学。修士課程を修了後、博士課程で研究や制作をしています。

私の夢は美術作家になり、作品を通して自分と他者を感動させることです。今は、中国古典思想「気」を具象化させようと取り組んでいます。来日後、歴史的な寺社の空間に漂う「気」を体感し、着目しました。新しい空間の認識手法として、これまでにない「気」の視覚化を考案しています。

昨年、博士課程1年目の研究をまとめ、日本デザイ

ン学会の研究発表大会に応募した結果、採択されました。大会では発表を行い、グッドプレゼンテーション賞も頂きました。予想以上に良い結果が得られ、とてもうれしく思います。また、研究のため、日本中の寺社で調査を行う傍ら、宮大工の技を学んでいます。それをきっかけに、伝統木造建築の工法の一つである「架構」、つまり、材を結合して作ったオブジェを空間に設置し、それらを観感することによって「気」を感じてもらうことを考えました。この案で展覧会に応募した結果、無事通過。春には出展し、今後も得たものを研究や次の制作に反映させるつもりです。

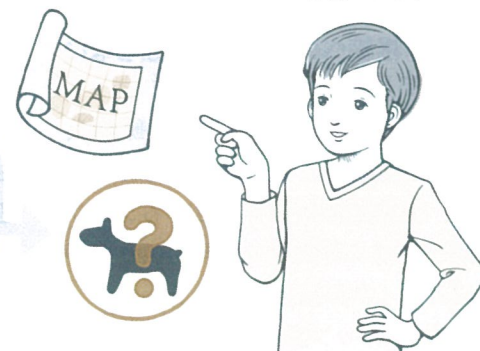
自然の「気」、人の「気」を感じ、そこに敬意を表しながら共生することは、私たち人間にとって最も大切な姿だと思います。そのことを常に思いながら活動していきたいと思っています。

中国湖南省出身、東京都在住。東京芸術大学大学院美術研究科博士課程2年。奨学期間：2022年4月～24年4月。世話クラブ：古河中央RC。趣味：ものづくり、旅。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

漢字とひらがなの動物探し

出題：小野寺 紳
作画：ライトマン



形 色 東 西 愛 恋
47 森 林 手 足 道 町

「ママ、動物の問題。形はあって色はなく、東はあって西はなく、愛はあっても恋はなく、森はあっても林はなく、手はあっても足はなく、道はあっても町がないものがあるんだ」

「???'」

「そこには、漢字だと4種類の動物がいて、ひらがなだと6種類の動物がいるんだ」

「???'」

「さて、漢字でもひらがなでも見つけることのできる動物は何種類でしょう?」

「全然、さっぱり、何を言っているかも分かりません! (きっぱり)」

「せっかく僕が発見したんだから、やってみてよ。47あるうちから、動物を意味する漢字を捜し、ひらがなにしたときに、中に動物名があるものを捜せばいいんだよ。僕の地図帳を貸してあげるよ」

「47…動物名…地図帳?」

「ただし、ひらがなで1文字の動物と人間は数に入れないよ」

——さて、漢字でもひらがなでも見つかる動物は何種類?

答え 種類



机の上で 緑を育てよう!

毎月10人に
頭から草がニョキニョキ
「ヘアラボ」を
プレゼント!!

◆パズルdeロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「5月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階(一社)ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄(縦組み)に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2023年6月12日(月)必着(当選発表は8月号)

●パズルdeロータリー(2月号)の答えと当選者は、横組みP38に掲載しています。

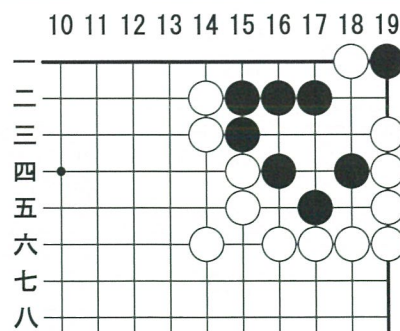
詰め碁



出題 日本棋院

問題 黒先
一線にある黒石を活用します。
(5分で初段)

●詰め碁の解答は、横組みP38に掲載しています。
(※詰め碁にはプレゼントはありません)





※アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

ポリオ根絶への貢献にとどまらない 女性ポリオワーカーの意義

パキスタンのポリオ根絶活動では、女性の活躍が3分の2を占めています。経済参加と機会におけるジェンダー平等の順位が世界146カ国中145位（世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数による）であるこの国にとって、この割合は驚くべきことです。

女性のポリオワーカーの役割は必然から生まれたものです。慣習により、パキスタンでは他人の家に男性が入ることは許されません。そのため医療ケアを提供する重要な役割を女性が担っているのです。彼女らは母親同士のつながりを築き、ポリオだけでなく他の健康問題についても信頼できるアドバイスを提供し合っています。

昨年、パキスタンのポリオ根絶活動家たちと面会したジェニファー・ジョーンズR I会長は、「最前線における女性たちの協力が、目標を達成するための力となる」と話しました。現在、野生型ポリオウイルスによる発症が起きている国は、パキスタンとアフガニスタンの2カ国。女性の保健員は、男性が入れないような家にも入ってい

けます。

女性ポリオワーカーの仕事は安全でも簡単でもありません。悪態をつかれ、突き飛ばされ、殴られ、殺されたことさえあります。誤った情報にも対応しなければなりません。そんな彼女たちの活動は、ポリオ根絶の枠組みを超えた極めて重要な役割を担っています。

「彼女たちは教育を支え、家庭を支え、男性を支え、パキスタンに変化をもたらしている。ポリオ根絶活動を超えた大きなものを支えているんです」と、カラチのポリオ支援センターのコーディネーターであるサディア・シャキールさんは話します。

シャキールさんは彼女たちを「小さな起業家」と呼びます。女性ポリオワーカーの大半は20～30代で、子どもがいる人も。夜明け前に起きてお祈りし、子どもたちに朝食を食べさせ、それからポリオ根絶のための活動に出かけていきます。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）では、女性の起用が重要な戦略の一つとなっています。それは、最前線でワクチンを届けるためだけでなく、スーパーバイザー、医師、意思決定者としての役割を担うからです。世界保健機関（WHO）東地中海地域のポリオ根絶担当ディレクターであるハミド・ジャファリさんは、「根絶プログラムのあらゆる段階において、女性なしでの成功はありえない」と話しています。

-Rotary International

写真提供：Khaula Jamil, Sana Ullah



今後のR I 国際大会

2023年5月27～31日
オーストラリア・メルボルン
（以下、予定）
2024年5月25～29日
シンガポール
2025年6月21～25日
カナダ・カルガリー
2026年6月13～17日
台湾・台北
2027年6月5～9日
アメリカ・ハワイ・ホノルル

統計

全世界ロータリアン総数
1,192,270人
クラブ数 36,947 クラブ
地区数 520 地区
国と地域 200 以上
ローターアクト会員数 174,895 人
クラブ数 11,207 クラブ
国と地域 160 以上
インターアクト会員数 438,219 人
クラブ数 19,053 クラブ
国と地域 150 以上

2023年3月15日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

R IやR I会長のSNSアカウントはこちら

国際ロータリー
@Rotary



ジェニファー・ジョーンズR I会長
@JenJonesRotary



野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：

GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）
polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2023年3月22日現在）

		2023年	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	1	20	1	84
	アフガニスタン	0	2	4	56
非常任国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		1	30	6	140



RI 指定記事

メルボルン国際大会

メルボルンで会いましょう

2023 年 5 月 27 ～ 31 日に催されるメルボルン国際大会のメインステージでは、ノーベル平和賞受賞者のリベリア出身・レイマ・ボウィさんが、女兒のエンパワメントについてスピーチします。数十もの分科会では、クラブに役立つ情報が得られます。会員と各分野のエキスパートが、ロータリーの行動計画を実行する方法、世界の課題に取り組む方法、リーダーシップのスキルを磨く方法、会員基盤を多様化する方法、入会への関心を高める方法についてヒントを分かち合う場となるでしょう。

「友愛の家」では、世界各地のプロジェクトや、親睦活動グループ、ロータリー行動グループなどについて学び、クラブのインパクトを高めるためのヒントとインスピレーションを得ることができます。ロータリーのプロジェクトパートナーである国際的な人道支援団体・シェルターボックスのブースでは、シェルター体験も可能。展示会場は、旧友と再会し、ネットワークを広げる新たな友人との交流を楽しみ、関心のあるプロジェクトのリーダーを見つけたりするのに最適な場所です。

期間中の多彩な催しをお楽しみに。

国際大会の参加登録はこちら
convention.rotary.org/ja



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

私たちの無限の可能性

「できる限りの善を全ての人に、できる限りの方法で、命ある限り行いなさい」

よく耳にする言葉です。この言葉は、ロータリーとロータリー財団の活動そのものを言い表していると思います。私たちはたくさんの「良いこと」を行い、さまざまな方法で世界中の人々に奉仕し、それらを長期にわたり続けています。これだけ多くの人に、これだけ多くの方法で良いことを行っている団体が、ロータリー財団の他にどれくらいあるでしょうか。

私たちは、スポンサーとしてさまざまな活動を支援するだけではなく、プロジェクトの計画と実行に時間をかけて向き合っています。ロータリークラブとロータリーアクトクラブは、私たちが活動する 150 以上の国と地域で信頼される存在となっています。また、専門知識が不足しているような分野では、世界保健機関（WHO）など信頼関係を築いてきた団体とパートナーシップを組み、人々の生活をより良くするために行動してきました。

他の慈善団体とは異なり、ロータリーでの人道支援活動は、うわべだけのアプローチは取りません。私たちは持続可能な方法で問題を解決します。財団プロジェクトを開始する前に、地域社会のニーズを調べ、地域社会の人々と密接に協力します。財団はまた、災害救援補助金を通じて、必要に応じて即座に対応します。最近のトルコ・シリア大地震がその例です。

私のような会計士、皆さまのようなビジネスや地域社会におけるリーダーは、特に数字に細心の注意を払っていると思いますが、その点では財団も大変優れています。プロジェクトへの資金提供では、ロータリーの財務的な義務と倫理を大切に、会員がリソースを最大限に活用できるようにしています。

ロータリーは補助金の管理にも優れています。補助金のほとんどが人道支援活動に生かされ、その運営管理にかかる費用は最小限となっています。この理由から、アメリカで慈善団体の格付けを行う機関・チャリティーナビゲーターは毎年、ロータリー財団に最高の評価を与えています。

私たちの世界的な活動は 7 つの重点分野に直結しているため、ボランティアと寄付者には、支援が最も必要とされている場所で、変化をもたらす機会があります。ロータリー財団を通じた支援の可能性は無限です。

慈善活動を支援したい、またはできる限りの「良いこと」をしたいとお考えの場合には、ロータリー財団がまさにうってつけです。ロータリー財団は、世界で最も素晴らしい慈善団体の一つであり、皆さま自身の財団なのです。

IAN H.S. RISELEY

2022-23 年度ロータリー財団管理委員長



クラブ名称変更

東京世田谷南→東京クロスシティ

(2750・東京都)

2023年3月9日承認

ローターアクトクラブ終結

一宮 (2760・愛知県)

提唱クラブ 一宮・一宮北・一宮中央・尾西

終結：2022年12月31日

島原 (2740・長崎県)

提唱クラブ 島原

終結：2022年12月31日

『友』誌上半期 ご購入数の変更について

- ①次年度『友』誌上半期分(2023年7～12月号)減部のご連絡は、2023年6月5日までお願いいたします。
- ②6月6日以降の減部のご希望は、全て下半期1月号からとなります。2023年7月10日までにご連絡いただければ、8～12月号の減部として、お受けいたします。
- ③部数変更のご連絡がない場合には、2023年6月号と同数を同じ購入商品形態(印刷版/電子版)でご購読されるものとして、ご準備いたします。
- ④追加購読のお申し込み時に「印刷版」をご希望の場合は、在庫がある限りお受けいたします。
定価275円(本体価格250円 送料別)
▶詳細は本誌5月号同封のレモン色のA4版ご案内状でご確認を。

「電子版」閲覧時には、ID・パスワードが必要です。パスワードのみ半期ごとに変わり、7～12月号のパスワードは、7月1日付送付請求書の右下に記載しています。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2023年2月末現在)

地区	R C 数	会員数	22年2月末 会員数
第2500地区	66	2,245	2,213
第2510地区	69	2,427	2,435
第2520地区	77	2,101	2,156
第2530地区	63	2,232	2,247
第2540地区	40	1,122	1,125
第2550地区	48	1,641	1,675
第2560地区	54	2,017	2,037
第2570地区	50	1,586	1,592
第2770地区	74	2,352	2,362
第2790地区	82	2,698	2,681
第2800地区	49	1,516	1,528
第2820地区	55	1,865	1,854
第2830地区	40	1,110	1,122
第2840地区	45	2,059	2,069
第2580地区	71	2,941	2,858
第2590地区	52	1,870	1,887
第2600地区	52	1,864	1,919
第2610地区	64	2,512	2,537
第2620地区	74	2,882	2,845
第2630地区	73	3,095	3,069
第2750地区	98	4,562	4,567
第2760地区	84	4,665	4,683
第2780地区	67	2,326	2,268
第2640地区	65	1,577	1,634
第2650地区	96	4,328	4,359
第2660地区	78	3,504	3,493
第2670地区	74	2,898	2,917
第2680地区	70	2,550	2,592
第2690地区	65	2,942	2,950
第2700地区	60	3,130	3,108
第2710地区	72	3,194	3,126
第2720地区	74	2,379	2,394
第2730地区	68	2,355	2,353
第2740地区	55	2,107	2,103
34地区合計	2,224	84,652	84,758

日本のロータリー
会員数 84,388 人

クラブ数 2,215

(左の表中34地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ9 R C 264 人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P 6「日本のロータリー」数は34地区合計からP B グループを引いた数。22年2月末P B グループ9 R C 会員数280 人。

地区会員数修正 4月号横組みP34(1月末)表中、2750:4,567 人/P B グループ280 人、2760:4,666 人、34地区合計会員数:84,591、表外とP7「日本のロータリー」最終行会員数84,311 人。

ご案内 左記一覧表は、3つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組みP 37 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 6月号主要記事予定

横組み 特集 ロータリー親睦活動グループ/『友』誌70周年記念

俳句コンテスト結果発表

縦組み スマートファクトリーへの挑戦

(株)安川電機取締役 津田純嗣

この人訪ねて 林秀一さん(那覇南 R C)



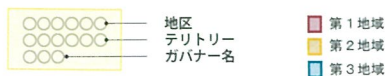
◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

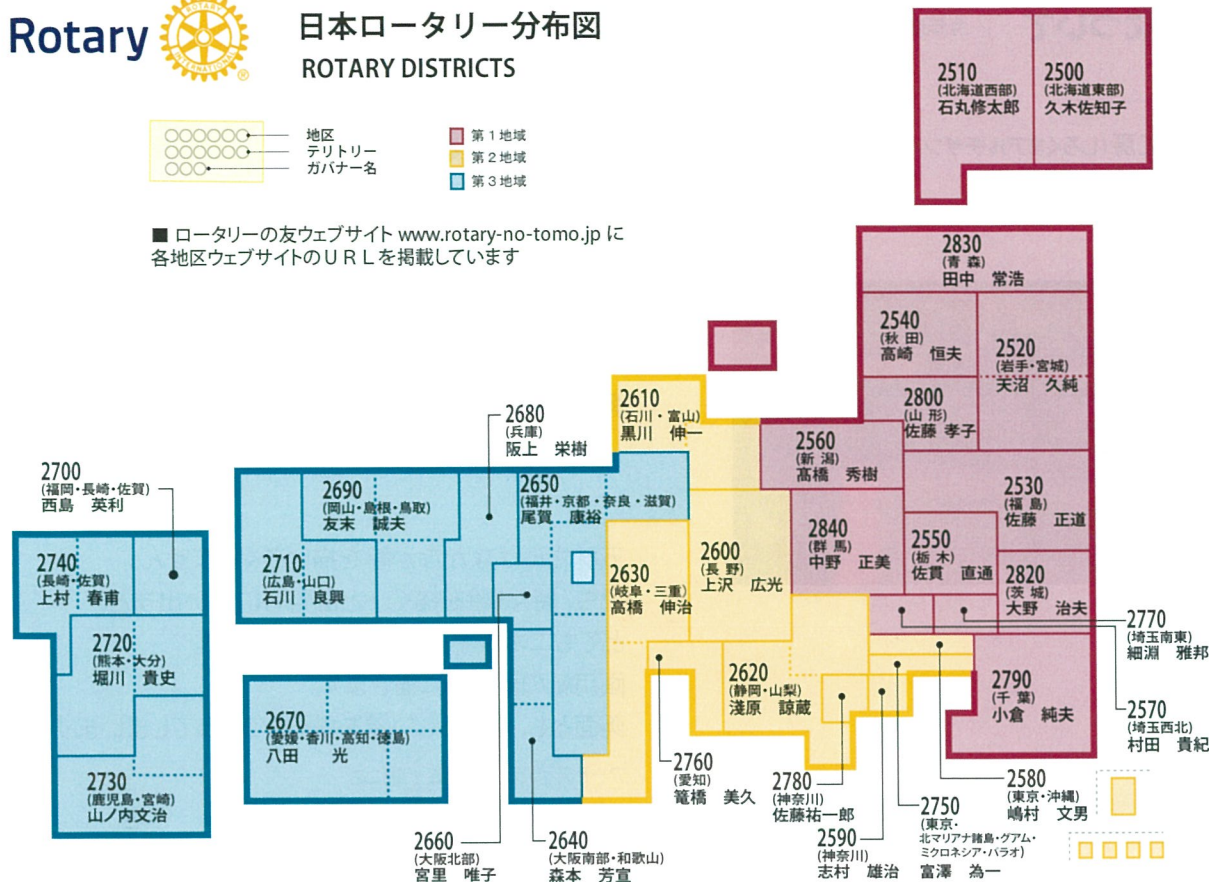
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)
副委員長 鈴木 一作 (寒河江)
R I 理事 佐藤 芳郎 (岡山南)
特別顧問 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
顧問 矢口 信哉 (東根)

顧問 小林聡一郎 (甲府北)
塚崎 寛 (長崎中央)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
相談役 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
地区代表委員 2500 井内 正樹 (旭川西)
2510 伏木 淳 (札幌西)
2520 藤原 繁 (盛岡南)

2530 星 富士雄 (喜多方)
2540 山本 隆弘 (秋田港)
2550 天川 主税 (宇都宮陽東)
2560 小林 悟 (新潟)
2570 齊藤 勇司 (鶴ヶ島)
2570 山内 一浩 (浦和)
2570 中澤 雅彦 (松戸)
2580 菅原 成規 (鶴岡)
2580 菅原 俊 (つくば学園)
2580 石川佳共子 (青森)
2580 岡部 幹雄 (前橋)

2580 佐藤 文則 (東京四谷)
2590 伊藤道一郎 (川崎南)
2600 小林 晃 (須坂五岳)
2610 芝田 実 (富山南)
2620 成田 伸行 (長泉)
2630 山田 秀夫 (岐阜)
2750 金澤 洋 (東京新橋)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 端山 創之 (藤沢西)
2640 榎谷 知樹 (和歌山北)
2650 赤井 紀之 (近江八幡)

2660 青山 快玄 (大阪北梅田)
2670 真屋 正明 (高松北)
2680 木本 玲子 (宝塚)
2690 福原 徹 (津山)
2700 薬田三三男 (小倉南)
2710 戸倉 茂雄 (徳山)
2720 山角 智秀 (熊本西種)
2730 尾形 栄 (延岡)
2740 牟田 清敬 (佐賀)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第71巻 5月号

2023年4月30日印刷
2023年5月1日発行

定価 275 円
(本体価格 250 円 送料別)

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 佐藤 芳郎 (岡山南)
嶋村 文男 (東京東江戸川)
富澤 為一 (東京品川)
佐藤祐一郎 (津久井中央)
宮里 唯子 (茨城西)

■理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)
理事 鈴木 一作 (寒河江)

理事 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
矢口 信哉 (東根)
小林聡一郎 (甲府北)
塚崎 寛 (長崎中央)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)

理事 羽田 伊助 (東京目黒)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
神原 一久 (東京豊島東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
野崎 恭子
監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
副所長 渡辺 剛
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
黒野 稯二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

表紙について — 今年度は多才な障害者アートをお届けします

イラストレーション

こまえ工房 (しろくまアルチザン)

五味 拓也さん



「心のままに」

緑のクレヨンが走ります。
その上を黄色いクレヨンが飛んでいきます。
横から黒いクレヨンがあいさつに来ます。
紫のクレヨンが下で寝ています。

(支援スタッフ代筆)

五味さんはなかなか絵を描いてくれません。
でも、時々「絵を描く!」と自発的に言い出すと、
とてもエネルギーに描き始めます。
画用紙の表と裏に描きます。
両面とも、素晴らしい絵を描くので困ってしまいます(笑)。

アートディレクション / 五十嵐仁之

パズル de ローター 2月号の答え

正解は「**5+9=14**」

1	8	2	4	7	3	5	6	9
3	4	6	5	8	⑨	1	7	2
7	5	9	1	2	6	8	4	3
4	3	7	6	5	2	9	8	1
⑤	6	1	9	3	8	7	2	4
9	2	8	7	4	1	6	3	5
8	1	4	3	9	7	2	5	6
2	9	5	8	6	4	3	1	7
6	7	3	2	1	5	4	9	8

応募総数 159 人 正解者 144 人

当選者 (敬称略・順不同) / 藤本誠 (東京北RC)、鈴木定男 (真岡西RC)、
中村秀勝 (郡山東RC)、竹下祐一 (きもつきRC)、小笠原秀 (東京調布
RC)、國分孝雄 (名古屋和合RC)、団迫亮紀 (笠岡RC)、中山剛志 (静
岡西RC)、島貫正弘 (米沢中央RC)、後和信英 (和歌山アゼリアRC)

◆ P33 詰め碁の答え ◆

黒先生き (18 の三)

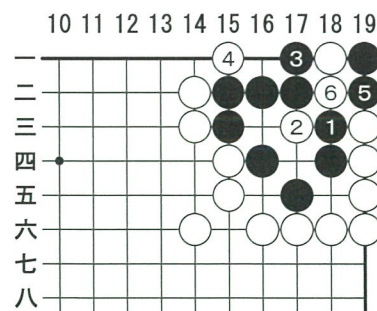
この問題に関するお問い合わせは、下記 (公財)
日本棋院認定係までお問い合わせください。

TEL : 03-3288-8723

FAX : 03-3261-5841

◆ 解説 ◆

黒1が正解で、白2と取りにきたら黒3と打ち、白4に
黒5が隅の特殊性による手段。白6と取られても黒7
(=5)でウツゲガエシになり黒生きです。初手黒3は
白1、黒2、白4で黒死。初手黒6は白5で黒死です。



ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員お薦めの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★

『友』誌についての感想・意見を150字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

うちの子 ★

ペットを写真で紹介。ペットの名前と、100字以内の紹介文。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇 ★

1カ月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は投稿フォームから受け付け可。

ロータリー・アット・ワーク ★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。写真(集合・記念写真不可)と150～600字程度の説明文。必ず活動日を入れ、活動後1カ月以内にご投稿ください。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★

2種類のパズル(数独、パズル)を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿フォーム rotary-no-tomo.jp/kitei.php

油絵肖像画

人生を描き未来へ伝える
感動の作品をおとどけます



肖像画を描きつづけて30数年
全国に一万点以上の製作数

カタログ資料無料送付
0120-762-333

東京 千葉 埼玉 兵庫 福岡 熊本

Dアート アソシエーション

本社 〒861-8043 熊本市東区戸島西1-18-34
TEL 096-331-2561 FAX 096-331-2562
<https://d-art-japan.com>



Rotary



ロータリーの友

読者の皆さまに御礼

『友』創刊70周年記念企画

「俳句コンテスト」に、

たくさんのご応募を頂き、

ありがとうございました。

普段から俳句を詠まれている方から、

今回初めて俳句を詠んだ、という方まで、

531人の力作が集まりました。

結果は6月号の誌面にて発表いたします。

お楽しみに！

編集部



『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

2023 VOL.71 NO.5

小学生の 手作り絵本コンクール

岩内ロータリークラブ
第2510地区・北海道



子どもたちが自作の絵本を朗読

当クラブでは毎年、小学生手作り絵本コンクールを主催している。今年度の参加者は15人。12月に講習会を開いて絵本作りを学び、冬休み中に絵本を制作。1月の審査会で最優秀をはじめ各賞を決定。2月4日に岩内町内のホールで発表会と表彰式を行った。クマが札幌市から岩内町まで旅をする話や、ごみ拾いの大切さを訴える話、ベットの死を考える友情物語、危険生物を仲間にしていく話など、今回も力作ぞろい、子どもたちの無限の可能性を感じた。数力月のうちに物語を考え、絵を描き、仕掛けなどを工夫。そして保護者を含め大勢の前で、緊張しながらも、世界でたった一つしかない自分だけの物語を朗読する姿に、聴衆の拍手が響き渡った。

このコンクールは青少年育成活動として2010年からスタートし、今回で13回目。岩内町教育委員会の協力を得て、地区補助金事業として開催している。成田賢一会長は「未来を担う子どもたちの想像力豊かな作品に触れることで、自分たち大人も素晴らしい夢を見せてもらえる。すてきな企画で、今後も続けていきたい」と話していた。

(木村拓司・記)

ドリームプロジェクト再開 五輪選手を招き講演会など

仙台ロータリークラブ

第2520地区・宮城県

東京恵比寿ロータリークラブ

第2750地区・東京都

仙台ロータリークラブ(RC)と東京

恵比寿RCは1月25日、東日本大震災以降、共同で続けている復興支援事業「ドリームプロジェクト」を、コロナ禍を経て3年ぶりに再開しました。被災地では「震災を風化させたくない



白井健三氏によるトークショー

い」「子どもたちに人材育成につながるソフト面での支援を」との声をよく耳にします。8回目となった今回は、防災教育に熱心に取り組んできた仙台市立鶴が丘中学校を支援先として実施しました。

午前中は1年生を対象に石巻市特産の雄勝石を使った「マイ硯制作体験授業」を行いました。震災で壊滅的な打撃を受けた石巻市の伝統産業支援と日本の伝統文化継承を目的に、これまでも宮城県内各地の小中学校で行ってきた支援活動です。

これに加え、午後からは全校生徒約300人が参加して、リオデジャネイロオリンピック男子体操金メダリストの白井健三氏を迎え、「子どもたちに夢と希望を」と題したトークショーを

開きました。白井氏は「夢の実現のためには好きなことを見つけ、小さな目標を一つ一つ達成する癖をつけてほしい」と、プロセスの重要性を語りました。トークショーは講演だけではなく、白井氏による体操の技の実演や解説も行われ、子どもたちは世界を制した大技が披露されるたび、感嘆の声を上げながら見入っていました。

(仙台RC 宮本保彦・記)

Annotation

ロータリーアクトクラブ
(Rotaract Club)

ロータリークラブが提唱する、18歳以上の全ての若い成人のためのクラブです。リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリアンなど地域のリーダーと交わり、ボランティア活動を行います。ロータリークラブにも入会でき、二重会員身分となることも可能。会員をロータリーアクトと呼びます。

インターシティミーティング
(InterCity Meeting IIIM)

都市連合会のこと。かつてはICCF(Intercity and Club General Forum)、IGF(Intercity General Forum)ともいわれました。都市間、あるいは都市内の会員が一堂に会し、ロータリー情報を学び、親睦を図る会合です。日本では主に分区分グループ単位で開かれています。

活躍中の二人、ジャーナリストで学習院シニアフェローの岩田公雄氏と筑波大学名誉教授の中村逸郎氏を講師に招き、対談形式でロシアとウクライナの最新情勢、今後の展望について熱く意見を交わしていただきました。途中、ウクライナから避難してきた4人の方から、群馬での生活や祖国への思いなども聞くことができました。

約2時間の長丁場となりましたが、会場に集まった約80人の聴衆は、真摯に耳を傾けていました。オンライン参加も含めると277人が今回の講演を視聴し、63万2800円の寄付金が寄せられました。協力してくれた人たちへの感謝とともに、今回のイベントを振り返り、一日も早く世界中に平穏な日が訪れるよう願わずにはいられませんでした。

(前橋RAC 片桐正人・記)



ウクライナから避難中の住民も参加

『10年の幸福写真』写真展

丸亀ロータリークラブ

第2670地区・香川県

当クラブは2月3〜4日、丸亀市で創立60周年の記念事業として、写真家・平井慶祐氏による『10年の幸福写真』写真展を開催しました。

平井氏は地元・丸亀高校の出身で、東日本大震災の直後にボランティアで訪れた宮城県石巻市に移住。その後、12年にわたって写真を撮り続けています。震災から10年の節目を迎えた折、「もし記念写真を撮るとしたら、いつどこで？ 誰と撮りたい？」とご近所さん一人一人に聞いて回り、それぞれの幸せな時間を切り取ってまとめた写真集が『10年の幸福写真』です。その



被災地の人々の幸福を写真で紹介

中には40組516人の写真が収められており、今回はそれらの作品を展示しました。

東日本大震災を経験しつらい思いをしてきた人たちが、10年を過ぎて見せる笑顔、それも腹の底から笑っている顔を見ると、感動すら覚えます。撮る人（写真家）と撮られる人との信頼関係なくして、このような笑顔を引き出すことはできなかったでしょう。笑顔は人を幸せに、元気にしてくれるということを実感した写真展でした。

来場者数は初日が240人、2日目が336人の計576人でした。2日目には平井氏と写真集の撮影・制作で『10年の幸福写真』実行委員長を務めた遠藤綾子氏の講演・対談も行いました。大勢の参加を得て、会員には座席もなく、立ったまま2人の講演に聞き入りました。

(横田龍男・記)

SDGsを考える討論会

南九州大崎ロータリークラブ

第2730地区・鹿児島県

2月19日、当クラブがホスト役を務め、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマに地区鹿児島県東部グループのインターシティミーティング（IM）を開催しました。

実は当クラブの所在地である大崎



SDGsへの取り組みについてディスカッション

町は、現在ごみを27品目に分別しており、環境省により資源リサイクル率で何度も日本一に選ばれている自治体です。2021年には町と民間企業が連携し、大崎町SDGs推進協議会を設置。積極的にこの分野の課題に取り組んでいることから、IMのテーマに取り上げることにしました。

当日は同協議会の代表を含む3人によるディスカッションを開催。それぞれの発言からは、一つの活動が点から線になり、大きな面へと広がっていく様子が感じられました。われわれロータリーも同様に、個々人やクラブの活動がポリオ根絶のような大きなうねりになっていくのだと、改めて思うことができました。今後とも知恵を出し合い、楽しみながらロータリーの活性化に努めたいと思います。

(今福和幸・記)

を味わえました。われわれにとつて大きな喜び、貴重な経験となりました。

養護施設退所者支援 ガウディプロジェクト

福井ロータリークラブ
第2650地区・福井県

全国で児童養護施設に入所している子どもは約2万5000人。うち福井県には約200人が入所しています。以前は親の行方不明や生活苦が入所理由でしたが、今では半数以上が親からの虐待だそうです。

児童福祉法では原則、高校を卒業する18歳で施設を退所（法改正で24年4月に撤廃）しなければなりません。親元に戻れば再び虐待に遭ったり、子どものお金を親が巻き上げたりする可能性があるため帰れません。退所者は一般家庭で教わるような世間のことを知らない場合も多く、相談できる人もあまりいません。施設職員が対応できればよいのですが、職員数からも、入所児の世話で手いっぱい状態です。

そこで、クラブは2017―18年度から、退所後の2年間を見守っているとう就業支援事業「ガウディプロジェクト」を立ち上げました。建築家ガウディの作品のように、長く受け継がれるよう願って命名した事業です。

具体的には、会員から協力企業を募り、その企業に就職してもらうことで、物心両面の支援をします。雇用した企業は賃貸住居の敷金と礼金、毎月の家賃として2万円を超えた分を補助。クラブからは10万円の就業支援金、さらに精神的支援として地域団体の「親子関係支援センターやまひす」と年間35万円の委託契約をして、バックアップしています。

プロジェクトには会員企業から20社が参加し、事業開始から5年間で計2人を支援しました。しかし、それ以外の退所者たちは苦しい思いをしているかもしれない、1人でも多くの若者を助けるため、できれば県内の他のクラブにも協力を求め、支援の輪を広めていきたいと思っています。（寺本光宏・記）

小学生に歴史案内図を贈呈

帯広東ロータリークラブ
第2500地区・北海道

帯広の名前は、アイヌ語のオベレベレケブ（川尻がいくつにも裂けているところ）がなまってオベリベリ、さらにオビヒロになったと考えられています。この地に初めてくわが入れられたのは1883（明治16）年、静岡県松崎町出身の依田勉三が率いる「晩成社」によってでした。



古川直也会長が地図について説明

その帯広市が開拓140年を迎えるのに合わせ、クラブではそうした歴史や史跡などを紹介する「帯広市まちなか案内図」を作成。地元の小学3〜4年生を対象に2500部以上を寄贈しました。また、依田の命日に当たる12月12日には、市立帯広小学校で寄贈セレモニーを開きました。

制作に当たっては地区補助金を活用。郷土史家の人たちと話し合い、子どもたちにも分かりやすい内容になるよう心がけました。市中心部やその周辺の史跡を記した地図、開拓の祖・依田勉三と作曲家・万城目正、歌人・中城ふみ子という、歴史・文化に関係の深い3人を紹介しています。

セレモニー後、古川直也会長は4年生の教室で地図について説明。会長が「皆さんには帯広の歴史をさらに知っ

てもらいたい」と話すと、児童たちは「依田勉三はなぜ帯広を開拓したの?」「何歳の時に来たの?」など目を輝かせて質問するなど、その反応はうれしく、頼もしい限り。生まれ育ったわが街・帯広の歴史をより深く知るためのきっかけになれば、と思いました。

決して人数の多くないクラブですが、自分たちの街の歴史を大切に、後世に伝える活動は今後も続けていきたいと思っています。（上野敏郎・記）

ウクライナ避難民支援で チャリティー講演会を開催

第2840地区ロータリーアクトクラブ

群馬県

当地区ロータリーアクトは1月28日に「ウクライナ避難民支援チャリティー講演会」を開催しました。

群馬県にはウクライナから避難してきた人が約50人います。今年度、当地区ロータリーアクトがターゲットに掲げた「未来へ共に実りある奉仕を」の実現を目指し、こうした人々たちを支援すべく、今回のイベントを計画しました。支援金を寄付するだけでなく、戦争当事国についての知識・理解を深めることも目的に、チャリティー形式での講演会を行うことにしました。テレビなどのコメンテーターとして

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

マニラの小学校に 大型モニター寄贈

越谷ロータリークラブ
第2770地区・埼玉県

2月9〜12日、当クラブ会員11人で、フィリピン・マニラへ国際奉仕活動に行ってきました。マニラ郊外のアントニオ・ルナ・エレメンタリースクールに、大型モニターを寄贈するためです。同校には児童が1600人在籍しており、授業は午前と午後の2部制。公立の小学校ですが、いまだに多くの教育資材がそろっていない状況でした。昨年12月に視察に訪れ、校長先生から状況を聞いたところ、「フィリピンではほとんどの授業をモニターでつないで行っていて、これまで使っていた24インチのモニターでは小さくて、教室の後ろの児童は画面が見にくく困っている。

る。スピーカーも内蔵されていないので、音声も出ない」とのこと。そこで、スピーカー内蔵の42インチモニターを寄贈することにしましたのです。

視察後、マニラ市内の電器店を回り、片言交じりの英語とジェスチャーでモニターの価格交渉を行いました。1軒目の店では値引き交渉がうまくいかずに決裂。2軒目で粘り強く交渉を重ね、22台分を確保できました。もし値引き交渉をしていなかったら、こちらの予算で21台分となっていたところでした。モニターの設置は学校のPTAメンバーにお願いしました。

寄贈式では子どもと先生の出迎えを受け、先生の歌や子どもたちのダンスでもてなしてくれました。子どもたちの明るく元気な笑顔が印象的でした。



子どもたちがダンスでおもてなし

今後も設備の整わない公立の学校を中心に、国際奉仕活動を行っていきたいと思っています。（永島信之・記）

オリンピアンが 中学校で出前授業

船橋ロータリークラブ
第2790地区・千葉県

当クラブは1月13日、地区補助金を活用し、船橋市立湊中学校で出前授業を行いました。講師は千葉県出身で、東京オリンピック空手女子組手に出場した植草歩さん。活動拠点を船橋市に移した縁で依頼をしました。

植草選手はテレビのバラエティー番組だけでなく、オンラインでも積極的に関活動配信。「空手界のきやりーはみゅばみゅ」と称され、幅広い層に支持されています。そんな彼女のファンという校長先生の意向もあって、今回は全校生徒が参加。体育館に中学1〜2年生約280人、受験を控えた3年生約130人は各教室からオンラインで視聴しました。

前半は、植草選手が五輪に出場するまでの軌跡を講演。輝かしい活躍や実績よりも、失敗から得たことを分かったりやすく語ってくれました。私語をする生徒もなく、真剣に聴く姿が印象的

でした。後半は空手の実技指導。技が披露されるたびに、大歓声が沸き起こりました。正拳突きのコブしの握り方などの説明を受けた後、生徒たちも植草選手の掛け声で実技に挑戦。生徒だけでなく、体育の担当と思われる先生が終始、真剣にメモを取る姿も見られました。最後は、校長先生がお尻を蹴られるパフォーマンス。子どもたちの大歓声で授業は終了しました。

船橋市や中学校の全面協力は得られたものの、コロナ禍での準備には苦労もありました。それでも、生徒たちの満足を肌で実感でき、後日、校長先生からは全生徒の感想文とともに「想像以上に子どもたちの心に響いた」との言葉も頂きました。植草選手とも打ち合わせを通して親交でき、共に達成感



オリンピアンへのキックを受ける校長先生

ROTARY AT WORK



陶器の絵付け体験

〈弟子屈RC〉

地元の認定こども園ましゅうで陶器の絵付け体験講座を開いた。会員10人と、町内で開催中の「極寒芸術祭」でオーストラリアから来日中のアーティスト、アーランド・クロスさんも参加し、子どもたちと一緒に絵付けを楽しんだ。絵付けをしたカップは焼き上げられ、卒園前に子どもたちの手に渡る予定。
(2月15日 第2500地区 北海道)

ROTARY AT WORK

ウクライナへ
カイロを贈ろう

〈第2570地区第1グループ〉

ウクライナから避難している女性の意見を基に、「ウクライナヘカイロを贈ろうプロジェクト」に着手。グループ内で使い捨てカイロを集め、ウクライナ大使館の協力も得て、船便コンテナに段ボール6箱分のカイロを搬入。電気が止まっている地域の住民にぬくもりを贈った。
(2月3日 埼玉県)

ROTARY AT WORK



ROTARY AT WORK

看護学生を応援
「夢フォーラム」開催

〈那覇北RC〉

コロナ禍で学びや仲間との交流を制限された学生たちを応援しようと、那覇市医師会那覇看護専門学校で「夢フォーラム Make the future」を開催。会員が看護専門学校生約120人に向け、未来を思い描くことの大切さなどについて講演した。会員と学生との対談も行い、未来ある若者たちを激励した。
(2月1日 第2580地区 沖縄県)

ボッチャを通して障害者と
の共生を

〈東京山の手RC〉

2016年から毎年、特別支援学校の都立光明学園でボッチャ大会を開催している。この大会を経験した、卒業生の高橋祥太さん、高橋克成さんが日本ボッチャ選手権大会と関東ボッチャ選手権大会のメンバーに選ばれたため、活動費を支援したところ、両選手がクラブのロゴをユニホームにプリントして出場。2月4～5日の関東ボッチャ選手権で、祥太選手が優勝、克成選手が3位の成績を収めた。
(第2750地区 東京都)

ROTARY AT WORK

ロータリーの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



別府に生まれてくれて ありがとう

〈別府RC〉

クラブ創立70周年を迎えた記念活動として企画。7月1日以降に別府市で生まれた赤ちゃんへ、かわいいうちの動物のイラストと別府竹細工をモチーフにした「竹の身長計」が描かれた記念バスタオルを贈るプロジェクトを展開。地元への感謝と、未来を担う新しい「宝」である赤ちゃんの祝福が意図。3月末まで募集し、計3回の抽選を実施。当選家庭へ、会員らがバスタオルを丁寧に梱包（こんぼう）して発送した。

（第2720地区 大分県）

ROTARY AT WORK



ロータリー創立記念日に トルコ・シリア地震災害 救援の募金活動

〈青森RC〉

ジョーンズリー会長がトルコに現地入りし、トルコ・シリア地震への被災者救援を呼びかける映像をSNSで見たことがきっかけで、会員30人が地域のショッピングセンターで募金活動を実施。多くの市民から救援金と応援の言葉を頂いた。地元テレビ局3社から取材を受け、当日夕方には一斉に報道された。

（2月23日 第2830地区 青森県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

ウクライナに 「カイロ」を送る

〈第2740地区〉

厳寒の中、電力供給が不安定となったウクライナの人たちに向け、使い捨てカイロを7箱分、計1680枚を贈った。2月に入ってウクライナに届き、ウクライナ・ドニプロシティRCの会員から被災者に配布された。

（1月18日 長崎県・佐賀県）



ROTARY AT WORK

公園にサクラと ベンチを寄贈

〈鹿児島RC〉

創立70周年記念事業として、地元・上荒田の杜公園に、ジンダイアケボノサクラを寄贈。地区からの2本を含めた計17本を植樹した。さらに、ベンチ2基を寄贈し、植樹祭と銘打ち、鹿児島市長と会員30人以上が参加した。毎春、花を見に訪れた市民が穏やかな気持ちになれるよう、会員一同願っている。

（2月10日 第2730地区 鹿児島県）



ROTARY AT WORK



子どもたちの部活動を支援

〈東京渋谷RC〉

教師の負担軽減や生徒のニーズを満たすため、企業・団体が部活動での技術指導にも協力する渋谷区実施の「シブヤ『部活動改革』プロジェクト」に参画。地区補助金を活用してロータリーのロゴを入れたフェンシング用の剣や防具などを寄贈し、部活動の見学会も併せて行った。実際に練習に励む中学生の様子を見て、事業の意義に感銘を受けた。

(2月4日 第2750地区 東京都)

幼児の救命処置を訓練

〈大阪アーバンRC〉

高槻市のここに保育園で、先生と保護者を対象に「幼児安全法講習会」を開催。クラブが寄贈した自動体外式除細動器(AED)と、日本赤十字社大阪府支部に寄贈した幼児モデルの心肺蘇生訓練人形4体を使い、参加者は真剣そのもの。その様子は地元テレビニュースで紹介された。

(1月28日 第2660地区 大阪府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

未来のワールドカップ
出場を夢見て

〈河内長野東RC〉

小学生を対象に第13回ロータリーカップ2023を開催。9チーム総勢140人を超える小学生が参加し、プロサッカークラブのセレブソン大阪コーチ陣との交流戦も行い、プロの技術を肌で感じた。閉会式では、元プロサッカー選手からエールが送られ、子どもたちは皆真剣に聞き入っていた。参加者の中から未来のワールドカップ出場選手が出たらと、会員一同期待している。

(2月4日 第2640地区 大阪府)

ROTARY AT WORK

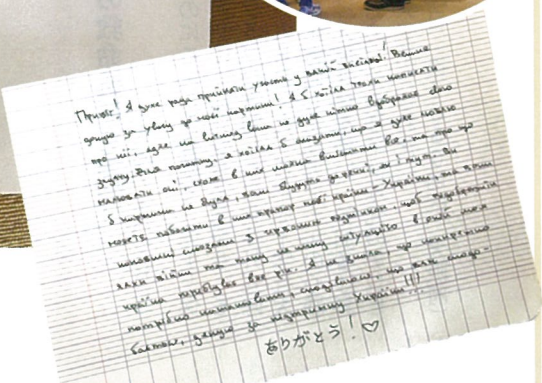
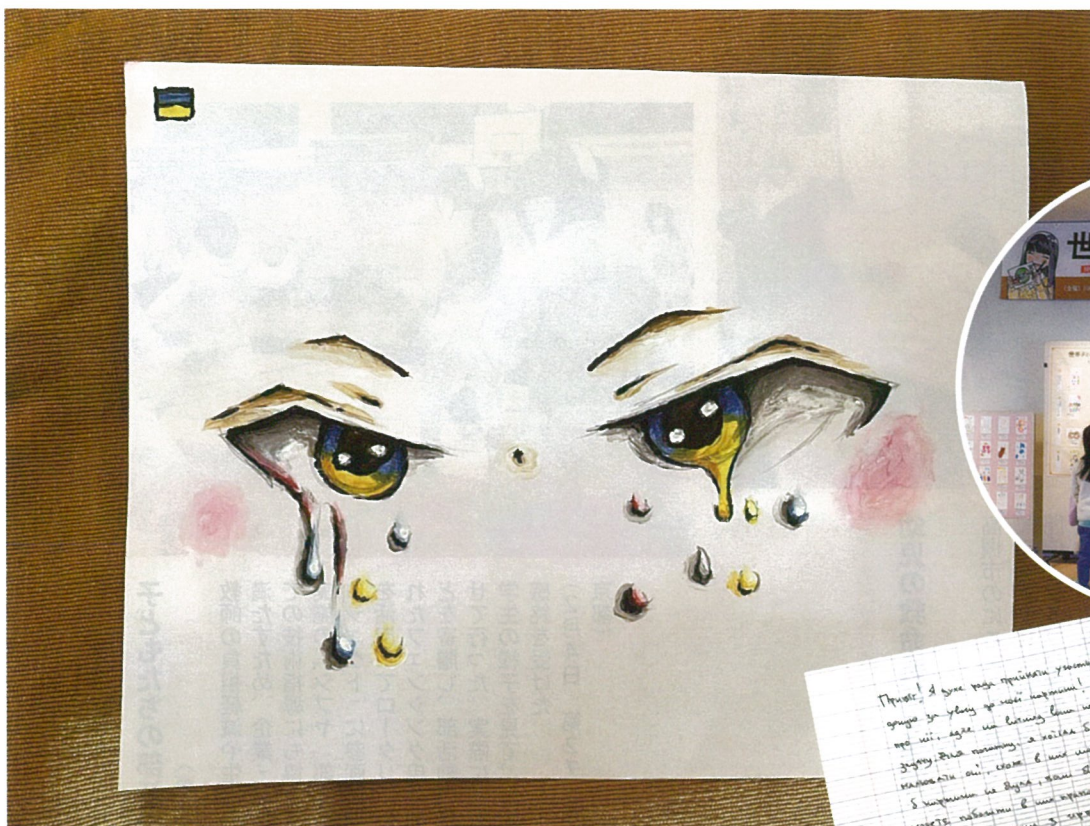
献血助け合い運動に
協力

〈内浦RC〉

クラブは創立以来48年間、毎年献血運動に協賛している。会員はロータリーのロゴ入りジャンパーを着て、のぼりを掲げ、協力を呼びかけた。ロータリーの公共イメージ向上にも貢献。会員からは4人が献血に協力した。また、クラブから献血協力者に生卵1パックを贈った。

(2月2日 第2610地区 石川県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

ウクライナからも…… 世界子ども絵手紙展開催

川崎北ロータリークラブ
第2590地区・神奈川県

2月25〜27日、川崎市国際交流センターで「世界子ども絵手紙展」を開催しました。市教育委員会への協力要請を含め、昨年8月から絵手紙の募集を開始。海外に拠点を持つ会員や、友人の交友関係を頼って作品を集め、国内外から500点以上の作品が集まり、全作品を展示しました。開催2週間ほど前に当地区や行政、地元紙、企業の協力も得て作品を審査。各団体に未就学児部門、小学生部門、中学生部門、一般部門から優秀賞を1点ずつ選んでもらい、計36点を優秀賞としました。

このような活動はクラブとして初めての試みで、「世界」と銘打ったため、特に海外から集まるかどうか心配ばかりでした。幸いにも、フリーピンのロータリアンの呼びかけや、横浜にある在外ドイツ学校の生徒からの応募で、国際的な作品が集まりました。盛況のうちに幕を閉じたと報告したいところですが、初開催で事前告知も足りず、盛況とはいきませんでした。ただ、展示会場の隣にマイナンバーカードの登録会場があり、大勢の人が立ち寄って作品を鑑賞してくれたのは、幸運でした。

今回の作品中、フランス・パリに住む少女（13歳）は「絵手紙」を絵と手紙のことだと理解したのか、別々に送ってきました。彼女はウクライナの首都・キーウで育ちましたが、昨年春から姉と一緒にパリで避難生活を送っているそうです。その手紙には作品の解説として、青と黄の色彩からウクライナの国旗を見てほしいこと、赤い色の涙で悲惨な戦争と困難な状況を表現したことなどがつづられていました。最後に日本語でも「ありがとう!」と書かれてあり、感動的な内容でした。

（大塚正一・記）

百の頂きに 百の喜びあり

高岡 竹中 伸行

当クラブには、文筆家・登山家の深田久弥が選んだ日本百名山全座に登頂した会員が、私を含めて3人います。私が登山を始めたのは10年ほど前。50歳を前にして土日時間が取れるようになり、久しぶりに登った地元立山で、自然に親しむ喜びを感じたのがきっかけです。

それから半年ほどは、毎週末に県内の低山に登り、すっかり登山のとりこになってしまいました。その中のある山で「5年間で日本百名山

全てに登った」という人と会いました。その時は、よほど時間とお金に余裕のある人だと思いました。自分も一生のうちには日本百名山に登ってみたいと、漠然と考えたものでした。

翌年のゴールデンウィークに遠出して、滋賀県の伊吹山、奈良県の大峰山、大台ヶ原山という日本百名山3座に登りましたが、意外と困難でもないと感じ、それからは毎週末、日本百名山に挑戦するようになりました。

山は逃げないといいますが、とにかく健脚なうちでなければと思い、休日は全て登山に費やしました。天気予報を見て、晴れていそうな山に遠出したり、冬は登れる山に限られるので、九州の山々に向かったりしましたが、天候が良くなっても、よほどの暴風雨でない限り登りませんでした。あまりお金もかけられなかったため、本州と四国は車で移動。北海道と九州は新幹線や飛行機で行ってレンタカーで移動。宿泊は山の上でも下でもテント泊でした。

結果として3年半で100座に登頂。最後に残っていた槍ヶ岳には、記念登山として大勢の仲間が参加してくれ、山頂で登頂祝いをしてもらったのがいよいよ出になっています。

その後は北アルプス全縦走や3000メートル峰23座登頂、無名ピークを含むと1000座を超える修行の道である熊野古道の大峯奥駈道にも挑戦し、富士山より高い台湾の玉山（日本統治時代の名称・新高山）、雪山（同・次高山）、東南アジア最高峰とされるボルネオ島のキナバル山、アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロなど、海外の山にも登りました。

3年前に当クラブに入会した安田勇さんも日

うちの子



わが家の次男「飛鷹」です。やんちゃ盛りの7歳。時々、ベロをしまい忘れちゃうんです。

とびまろ 飛鷹

福澤 浩（長野県・駒ヶ根RC）

本百名山を目指し、おとしに最後の槍ヶ岳に登頂。私の山の先輩だった鞍野誠さんも昨年最後の剣岳に登頂。これで当クラブには、日本百名山登頂者が3人になりました。今年度からはこの3人を中心にクラブの「山岳同好会」も発足し、仲間と自然に親しむ楽しい山行をしています。

（第2610地区 富山県 銅製品販売）

Annotation

ロータリー研究会 (Rotary Institutes) 元・現・次期RI役員への情報提供のための年次会合。RI会長やロータリー財団管理委員、RI理事なども出席し、ゾーンごとに2〜3日間の日程で開催。講演や発表、パネル討論、質疑応答セッションなどが行われます。

私は愛媛県宇和島市PTA連合会（市P連）の副会長をしており、市P連の広報誌『PTAうわじま』の編集長として3年目。しかし、新型コロナウイルスの影響で、事業がことごとく中止のため、発行しようにも記事がない……。ここ2年は年1回の発行、しかも8ページ程度の少ない情報量の冊子となっていました。

正副会長会でそのことを話したところ、事務局から提案があり、今年度は特集記事を作ることにしました。せっかくだから、以前から試してみたかった縦組みの表紙、横組みの表紙がある『友』のような形式で発行してみようと思い、『PTAうわじま第31号』が出来上がりました。ロータリークラブに入会して、初めて『友』を読んだ時に、「どっちが表紙？」と思ったときの気持ちを、宇和島市内の保護者も感じてくれたら……。と、心の中でクスリと笑みを浮かべつつ作成しました。このような形式の冊子があるということを紹介できたことが、今回の私にとっての最高の満足感であり、『友』には心から感謝申し上げます。

（第2670地区 愛媛県 宗教 神道）

2022年、会員に とっての「漢字一文字」

京都イブニング 山本 武臣

2022年12月12日の「漢字の日」に、（公財）日本漢字能力検定協会が発表した「今年の漢字」第1位は「戦」でした。それでは、当クラブの会員にとっての2022年の一文字は？ と思

い立ち、クラブ公共イメージ委員会で調べることにしました。

さっそく会員の意見をまとめたところ、15文字が提出され、例会で報告されました。会員は異業種に従事していますが、同じコロナ禍の世界でこの一年を過ごしているので、同じような漢字が多いのではと想定していました。しかし、結果は、意外に会員によってさまざまであることが分かりました。

まず、「忙」の文字が最多となりました。コロナ感染拡大、その中での出張、医療、仕事などにより「忙殺」「煩忙」であったようです。また、新年度も一文字を挙げるなら「忙」であろうという意見が出ていました。

世界情勢では不安がいつぱい。しかしそういう中でも希望を持っていたい、という気持ちで「希」。自分や家族もコロナによる社会的な規制から、日常への復活の兆しを感じたので「復」。家族も自分もコロナ禍に負けず無事に乗り越えることができた、今後もさらに厳しい峠を越えなければならなくなる、ということで「越」。

「空」——空しい理由はいろいろとあったようですが、新年度は「健」でいたい、という意見がありました。価値観が多様化する中、人の行くべき倫に着目して「倫」。残念なこと、悔やむことが多くあったため「悔」。しかし新年度は「更」という文字にできるように頑張りたい、とのコメントもありました。

クラブの継続、次世代への継続のために持続可能な社会が問われているということで「継」。この一年間、苦悩、苦難、苦境しかなかったことから「苦」。感謝を忘れてはいけないと改め

て思う気持ちで「感」。

家族の逝去、施設入居、子どもの巣立ちがあり、悲しみ、哀れみ、切なさを「哀」。仕事面で原点回帰、再始動の年であったので「再」。その他「忍」「痛」「変」が挙げられました。

この「会員にとっての漢字一文字」を改めて眺めていると、まさに会員の一年間の思いが表れていることを実感します。この企画は次年度も継続し、会員各自の一文字が次の一年間でどのように変わるか、アンケート調査をする予定です。

クラブとしては、次年度には、せめて「明」「楽」という文字が入っていることをひたすら祈念する次第です。

（第2650地区 京都府 税理士）



意外と分かれたみんなの「一文字」。各会員の「この一年」に思いを寄せる企画に



終始笑顔のジェニファー会長に参加者も笑顔。貴重な交流の場に

の斉唱が行われました。これにはジェニファー会長も驚き、非常に喜んでくださいました。

例会では、11クラブの奉仕活動発表ビデオを上映。各クラブが「国際奉仕」「3・11復興支援」「地域奉仕」を柱に取り組んできた奉仕活動を写真や動画でまとめたものと、PBGからはクリスマスドロップの発表がありました。RI会長に私たちの日頃の活動を知ってもらう良い機会になっただけでなく、11クラブ会員の相互理解も深まりました。

そして、当日のメインであるジェニファー会長のスピーチが行われました。「ロータリークラブは素晴らしい活動をしている。そのことを外に発信していくことが非常に大事である。それにより地域、世界が変わっていく。その中で

自分も変わっていく」との内容で、ロータリーの広報の重要性を改めて感じました。

また、会長は世界各地を精力的に訪問しており、その際のさまざまな経験を語ってくれました。「ロータリークラブには国境がなく、何かが起きれば自分の家族のように思い、対応するのだ」との言葉を聞き、改めてわれわれもそのようにありたい、との思いを強くしました。

質疑応答で「日本は好きですか」と問われ、「日本は2回目の訪問だが、大好き」と笑顔。ポリオ根絶に関する質問では「アクセルを踏み続ける」という力強い言葉を頂きました。ウクライナ支援については「重要なのは、まず何が必要としているかを聞くこと」と、独り善がりではない支援の必要性を訴えました。なお「ウクライナでは、戦時下でもロータリアンが増えた。それはロータリーが希望を与えているからだ」とのこと。有事におけるロータリークラブの存在の重さを再認識しました。最後に「会長の活動のエネルギー源は？」との質問に、笑顔で一言「People」と仰ったのが印象的でした。

最後に、ジェニファー会長のテーマ「イマジンロータリー」に敬意を表し、「Welcome Jenni-fer」と書かれたハート形のメニューカードを掲げ、会場みんなで、ジョン・レノンの「イマジン」を大合唱。ジェニファー会長も、11クラブ会長と共に演壇で一緒に歌い、大盛り上がりの中に幕を閉じました。退場の際、サプライズで流したクール&ザ・ギャングの「セレブレーション」のBGMに、ジェニファー会長は、みんなの手拍子の中、ノリノリで曲に合わせて踊りながら退場。おちゃめな一面も拝見できました。

約2時間半という短い時間でしたが、ジェニファー会長の魅力を間近で感じた、貴重な体験でした。この素晴らしい合同例会の実現に尽力、また参加いただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。（第2750地区 東京都 弁護士）

良いものは学び、 広げる

宇和島 渡部 太輔

『ロータリーの友』みたいな冊子を作りたい！ そう思い、こちらを作成しました。



『友』の縦組み・横組みと同じ(?)広報誌が完成！



会員一丸となってPRに努めた結果、大きな反響に！

年少記録を更新し続ける令和の王者と、通算タイトル100期を目指す平成の王者の「世紀の一戦」。将棋ファンも一般市民も注目の大一番です。

金沢香林坊RCは、今年度創立35周年を迎えます。創立時は44人、現在では109人を有する大所帯クラブです。これだけ大きくなると、活動に積極的に参加する会員とそうでない者に分かれます。全員で役割分担して一つのことを達成するという機会が少なくなってきた、と感じていた矢先のことでした。

「金沢で初めて藤井5冠がタイトル戦を行う。この対局で金沢を盛り上げよう!! 石川にゆかりの食材をこの機会に広くPRしよう」と、ある会員が起案。35周年記念事業実行委員会に特別チームをつくり、「イチオシ『勝負めし!』投票」

を計画。地元の食材を使った8種類のメニューから、藤井王将と羽生九段に食べてほしい「勝負めし」を投票するもので、私たちの使命は「王将戦金沢対局を盛り上げること」「金沢・石川の食文化を県内の方には再認識、県外の方には広く知ってもらうこと」「会員が一致団結し、多くの投票を呼びかけ目標を達成することで全員が35周年を祝うこと」。目標は総投票数5000票。会員一人が50人に声をかける計算です。

ポスター200枚、チラシ2000部を会員の協力で全て配布。報道機関には試食会を兼ねた事業説明会を行い、投票開始を迎えました。しかし、最初の2日間で700票ほど入った後は、1日100票ほど……。中日を迎えるも1900票にも届きませんでした。

再度、会員に職場・関係先へのPRに努めてもらい、友好クラブ委員会から各友好クラブに、事務局からは地区内各クラブに投票を呼びかけ、金沢市のSNS、クラブ内外のインフルエンサーにも告知を依頼し、メディア向けには中間発表・結果速報と2回プレスリリースを送付。地元テレビ局はNHKを含む全5局、ラジオ1局、新聞は4紙に取り上げられた結果、「○○さんの投稿で勝負めし見たよ」「金沢で王将戦がある」といえば「勝負めし」でしょ」と返事が来るほど、知名度が上がりました。それに伴い、全国ニュースでも取り上げられ、北海道から沖縄まで多くの方に投票いただくことに。最終日を終えた総投票数は1万2590票。目標の2.5倍の大成功です。

そして冒頭の前夜祭。「この対局に当たり、金沢の食材や伝統を生かしたお料理をご用意い

ただいたそうなので楽しみにしています」と藤井王将があいさつ。われわれのPRがついには王将の耳にも届いた、というおまけ付きでした。対局中の昼食は、藤井王将が「スワイ&香箱蟹井」「治部煮うどん」、羽生九段は「能登豚カツカレー」「元祖金澤焼きそば」を選ばれていました。数人が頑張つて声を出すより、小さな声でも全員で力を合わせ声を出し続ければ、大きな声になる。ちょっと忘れかけていたことを思い出す、とても良い機会となりました。4月10日の35周年記念式典では、全会員で声高らかにお祝いしました。(第2610地区 石川県 損害保険)

ジェニファアー・ジョーンズRI会長を迎えて

東京愛宕 鈴木 潤子

昨年11月17日、ホテルニューオータニ(東京)で、第2750地区山の手東グループ(渡辺美智子ガバナー補佐)11クラブ合同例会を開催しました。クラブ幹事の私は広報を担当。神戸でのロータリー研究会のために来日したジェニファアー・ジョーンズ国際ロータリー(RI)会長をお招きするという、素晴らしい機会を頂きました。

当日は総勢300人超が出席し、当地区所属のPBG(パシフィックベイスングループ)もZoomで参加しました。盛大な拍手の中、ジェニファアー会長が笑顔で入場。11クラブ会長による点鐘後、「君が代」斉唱の前に、ジェニファアー会長の出身国・カナダの国歌「オーカナダ」

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

不思議な歯車のマークに導かれ……

上山 枝松 祐子

日本が東京オリンピックという一大イベントに沸いた1964（昭和39）年の9月、私は山形県山辺町に生まれました。何の不自由もなく、すくすくと育ち、無事に小学校へ入学。入学式で配られた教科書と一緒に、透明な下敷きを頂きました。下敷きの真ん中に、不思議な歯車のマークが大きく描かれていました。当時の私は「このマークは何だろう……。町の工場のマークかな？」と、不思議でたまりませんでした。その記憶は日々の学校生活でだんだん薄れていき、マークのことなどすっかり忘れ、下敷きはいかawaiiキャラクターのものに替わり、「不思議な下敷き」はいつの間になくなってしまいました。

月日は流れ、結婚してお隣の^{かみのやま}上市市で暮らすことになりました。結婚が決まってから夫の家に行きますと、道路に面したある貸事務所のガラス窓に「上山ロータリークラブ事務所」と書かれ、そこになんと、大きな歯車のマークが貼ってあるではありませんか!!

その時、私はあの小学校の時の不思議なマークを思い出し、「あーっ! このマーク!」と叫んでしまいました。ようやく、あの歯車がロータリークラブのマークだったことが分かったのです。実はあの下敷きこそ当時、地元^{かみのやま}の山辺ロータリークラブ（RC）の創立祝いで新入生に配られたものと、最近になって知りました。

それから18年後のことです。専業主婦の傍ら、編み物の先生をしながら過ごしていたところ、「上山RCです。事務局員になってもらえないかな?」と電話があり、私は「はい!」と即答してしまいました。

その一本の電話から、私の人生は激変していききました。不思議な歯車に導かれ、事務局員就任の翌年、推薦されてクラブに入会、そのまた翌年には幹事を務め、今年度はとうとう会長を拝命しました。しかも、地区インターアクト小委員長という役職まで仰せつかってしまいました。地区のロータリアンにお話しすると、「なんなの、そのサクセスストーリーは!?」と驚かれます。私自身も自分の運命にびっくりです。

中学生の頃、ボランティアの重要性を友人に語っても、なかなか共感を得られなかったことを思い出しながら、今年度、インターアクトと一緒にロータリーの楽しさを分かち合っています。

うちの子

コロナ禍による緊急事態宣言直前に、千葉で出会って一目ぼれ。ミニチュアプードルのマリイです。おてんば娘で、この通り、羽根なし扇風機くぐりもできます。朝の散歩では、近所のお年寄りのアイドルになっています。



マリイ

高橋 金一（福島県・郡山西RC）

これからもロータリークラブの一員として、そして事務局員としてしっかりサポートし、私を導いてくださった会員の皆さんに感謝しながら、日々を過ごしていきたいと思っています。

（第2800地区 山形県 手芸講師）

全員で力を合わせ「世紀の一戦」をPR

金沢香林坊 村本 暢之

1月27日、金沢市文化ホールに藤井聡太王将と羽生善治九段が現れました。翌日から2日間行われる「第72期ALSOCK杯王将戦」金沢対局の、前夜祭出席のためです。対局は、史上最

依代に群れて休むや寒雀

愛媛・西条 戸田孝一郎

一尺の持佛の煤を払ひけり

奈良 寺田眞佐子

遠き日や大口で受く牡丹雪

北海道・登別 寺島きしを

あゝ雪だおやすみなさい草よ木よ

茨城・古河東 小山 幸子

福豆の転がる縁に日向ぼこ

埼玉・日高 高木 祥子

ひとり用パックおでんやコップ酒

埼玉・日高 長澤 光子

咳一つホームに残し乗り込みぬ

埼玉・川口中央 谷野日出人

寒晴やろぼのパン屋の近づき来

岐阜西 眞鍋倭文子

雪筵珍しさうに踏む旅人

石川・加賀 折橋紀与美

小春日や洗たくばさみボケットに

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

雪祭りマイナス6度観る前に

靴滑り止め買いに行きたり

茨城・日立 清水 朋彦

この頃は巷の噂表に出ず

SNSなる裏で拡散

埼玉・川口中央 納口 歌俊

大寒の鯉沈みおり池の底

枯れ葉落ちるも微動だにせず

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

越人の越の言葉のやはらかく

遠くきたことねぎらわれおり

埼玉・坂戸さつき 岡部みゆき

甘き声のグリンスリーブスに癒される

しばしの幸あり術後の病室

奈良 寺田眞佐子

コロナ禍も三年経ちてようやくに

奈良の町にも外人戻る

奈良 松森 重博

いつだってあなたの声が聴けたから

輝いていた例会の日は

*敬愛するロータリーの先輩が亡くなりました

和歌山・田辺 山路 守

亡夫がもとめし白き手袋今われは

皮のにはいに偲びつつ歩む

佐賀大和 古賀くみ子

大寒波我が家の家計も注意報

福岡イフニング 力徳 正明

本当に今年は寒かった。そして上がる電気代。寒波は過ぎ去りますが、物価は上がり続けます。もっ今は、警戒警報鳴ってます。

寝めちぎり嘘を吐かせる妻の技

青森・八戸 道尻 誠助

長年連れ添った妻にはかきません。嘘(うそ)がバレればどんなペナルティーでしょうか？でも褒められると、ついうれしくなるんです。仲良し夫婦ですね。

旅支度お疲れ様と独り言

大阪大淀 長谷川孝華子

妻からの投句ですが意味深ですね。一人旅に出かけるのか？それともお連れ合いが手伝ってくれないのか？それとも別の意味があるのかな？ストレッチ手抜きを覚え身に付かず

東京池袋豊島東 小泉 博明

わかります。年を取ると、体が固くなるからきついんです。でも手抜きをしても、毎日体を動かすこと、大事ですから続けてください。

歯の治療いつまで続くはかないね

神奈川東 白鳥 厚夫

「はかない」と「歯がない」が掛かっていますね。私も歯がなくなったら笑われます。落語家だけに「歯なしか？ 嚙家(はなしか)？」なんてね。座布団一枚。

ゲレンデに今年も来たぜ爺二人

新潟・吉田 佐藤 良一

リズムに勢いがあります。山頂に立ち見下ろすゲレンデ、さあ行くぞ！格好良い爺(じい)さんスキーヤーの見事な滑りが、目に浮かびます。今度、私もスキーに連れてって！

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に葉書で一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆文字明確に ◆『友』俳壇係宛

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三首まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』歌壇係宛

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 耀 

春待つや憧れめくる蕉村の句

鳥取・倉吉 馬野慎一郎

〈遅き日のつもりで遠きむかしかな〉〈牡丹散て打かさなりぬ二三片〉。蕉村が大好きな人のようだ。その世界に憧れながら句集をめぐっているところ。何であれ、憧れは上達の第一歩。

初旅やいのちの峠越えて海

大阪心斎橋 西村 拓夫

「いのちの峠」がすばらしい。きつと大病を乗り越えた人だろう。久々の旅行、しばらく目にしなかった青い海原が見えた。初旅は新年最初の旅行。

七人に一人は貧し春を待つ

愛知・西尾 KIRARA 丸目 藤二

昨今の世相を一句にしている。「七人に一人」とあるが、じつさいはもっと厳しいのではないだろうか。いつの間にか、想像もしなかったたいへんな時代を生きている。

春立つやスニーカーのそわそわと

東京銀座新 市瀬 與彦

久々に旅行に行きたくて、そわそわしているのはスニーカーではなくて、スニーカーの持ち主である作者。それをスニーカーのことにして、おもしろい句になった。

伊勢海老が怖くて子猫部屋の間

愛知・名古屋錦 石井 弘子

正月、床の間に飾られた伊勢海老。それともお節料理の真ん中で威張っている伊勢海老だろうか。赤く染まった厳しい姿に子猫はビククリ。それを笑って眺めている家族。



馬場あき子 

ホテルでの爺のコンサート宴会でローレライをオペラの原語で歌う

宮城・古川東 高橋 義宣

歌は元氣と面白さがありいと思う。これは二句切で読む歌である。ホテルで「爺（じい）のコンサート」をやったという場面も魅力があり、作者ももちろん出演したのだが、もうひとつ余力を駆けてやりたかったローレライの唄をオペラ振りを入れて原語でうたったというのだ。若き日の花やかさと声は失っていたかと思われる。

ホテル、爺のコンサート、ローレライ、オペラの原語、どこか稚氣あふれるお膳立てだが、なかなかの花ある場面だ。

老いの鬱これではならじとプールにて二百メートル泳ぎでダウン

東京荒川 井上 久子

作者の「老いの鬱（うつ）」は自覚的な軽い気分のものであろう。回復の方途もわかっている。「これではならじ」などもユーモラスに使われている。楽しいのはプールで泳ぐ全身運動による快感を味わって精神を解放しようというものだったが、下句が絶妙だ。リアルな数字と強い音律で言い切つて現実の自覚に笑いを誘う。しかし作者の年齢は九十一歳。読者脱帽である。「老いの鬱」などありそうもない。



三遊亭白鳥 

やつと季節も暖かくなり、体がホツとしますね。うれしいことに、川柳の応募が増えてどの句を選ぼうか、悩ましさ身をよじっております。

身の回りのことから世界の情勢まで、アンテナを張る皆さんの好奇心に脱帽です。

天 夕暮れに緋の帯まとう富士の峰

神奈川東 茂木 知子

目の前に夕日に染まる富士山が浮かんできます。「緋（ひ）の帯」という言葉選びが素晴らしい。霊峰に相応（ふさわ）しい儼かな雰囲気グッと増します。日本には独自の色の表現があるんですね。勉強になります。

地 春一番飛んで行きたい彼のもと

大阪・岸和田東 近江 和代

長生きのコツは好奇心と恋心。春に相応しい、ときめきの一句です。そして彼とは誰なのか？初恋の人？好きだったアイドル？もしかして？意味深な句にもなります。読む人によって違う趣になります。

人 街外れ電話ボックス我のよう

神奈川東 加野 亮一

携帯電話の登場で、電話ボックスがどんどん消えてます。昔あんなに必要とされ重宝したのに。そこに思いを重ねて、寂しさどこか達観した潔さ。心に刺さります。

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

アニマルウェルフェア

認定NPO法人アニマルライツセンター 代表理事 岡田 千尋

「アニマルウェルフェア」は動物福祉という意味合いで、五つの動物の自由「飢え、渇き及び栄養不良からの自由」「恐怖及び苦悩からの自由」「物理的及び熱の不快感からの自由」「苦痛、傷害及び疾病からの自由」「通常の行動様式を発現する自由」が掲げられています。人が動物を利用する上では、倫理的責任があるという考え方です。日本は諸外国と比べアニマルウェルフェアの認知度・理解度が低く対応が遅れています。例えば国内の養鶏場で飼われる卵用の鶏は1～2年間卵を産んだ後、殺されます。1羽当たりの飼育面積は、鶏の体より小さいA5～B5判サイズ程度。一生ぎゅ

うぎゅう詰めのカージの中で暮らします。病気やけがをしても殺処分以外の処置はありません。こういったカージ飼育は、世界では廃止に向かっています。EUでは半数以上がケージフリー（平飼い）であるのに対し、日本は1%。食肉用の鶏では、鶏の歩くスペースもないほど過密で、足の裏は糞尿などによる炎症が頻発。炎症や病気を防ぐため、鶏にワクチンや抗生物質を与えた結果、日本の鶏肉は薬剤耐性菌の発生率が高く、サルモネラ菌が高頻度で検出されています。国際機関や機関投資家による評価付けでもアニマルウェルフェアが重要になっていますが、日本は最低ランクです。ヒトと動物、それを取り巻く環境は相互につながっているという、食の安全・ワンヘルスという考え方があります。日本では抗生物質の3分の2は畜産・水産で使われ、世界では毎年約127万人が薬剤耐性菌で死亡しています。生態系から見ても、哺乳類の6割が畜産動物、鳥類の7割が畜産の鶏、さらに世界の大豆の74%が畜産動物の飼料用と、非常に不自然な割合になっています。生態系が崩れると、気候変動が激化します。解決には「良いものを少量に」。植物性たんばく質にも目を向けつつ、アニマルウェルフェアに取り組みしましょう。

（第2590地区・神奈川県・横浜瀬谷RCにて）

私の一冊

護られなかった者たちへ

岩内RC 川崎 孝之



「仙台市の福祉保健事務所課長・三雲忠勝が、身体を拘束された餓死死体で発見された」。紹介文を読むと、普段なら決して手に取らない本だ。特に「餓死」という文字への抵抗感はかなりあった。東日本大震災後の仙台周辺を舞台にした社会派ミステリー小説で、初めて読む作家だったが一気に読み終えた。生活保護は国民を守る仕組みだが、どこかが破綻していびつな形となっている。薬剤師という私の仕事上、この制度と身近で、接する機会が多い。でも、それは部分的な一面かもしれない。餓死の過程が恐ろしく、切ない。護られなかった者たちとは、誰なのか。護られなかった者たちが護ろうとするものは何か。悲しいが避けてはいけない一冊。同年公開の映画は原作と趣を変え、震災の影響が色濃く仕上げられている。

（第2510地区 北海道）



中山七里 著
宝島社文庫
2021年7月刊



ミヤギテレビの「OH! パンデス」に仙台駅前から生中継で出演

過労や乳がん治療も克服 鬼小十郎祭りなど企画

白石の行事で麻生さんが関係したものはいくつもある。今では東北の人気イベントになった白石城で行われる「鬼小十郎まつり」(毎年10月開催)を企画したのも麻生さんと仲間たちだ。人気ゲーム「戦国BASARA」で一躍若者のアイコンになった片倉小十郎のキャラクターを麻生さんの仲立ちで使用できるようにした効果も大きかった。

IOC出向時に集めたものも含め、麻生さんは聖火のトーチなどオリンピックブック

記念品約800点を白石市に寄贈している。非売品も多く、希少なもののばかりだ。白石の子どもたちには世界に目を向け、大きな夢を持つてほしいと思ったからだ。現在、ホワイトキューブという施設に常設展示されている。

白石北RCでは会長も経験したが、2019年に退会した。ロータリーの活動が嫌だったわけでは決していない。そして仙台南RCのガバナー経験者から「ロータリー衛星クラブというかたちがある。創ってみたら」とのアドバイスをもらう。翌

年に仲間15人で新組織を発足させた。

「高い会費を伴う親睦・社交型クラブではなく、小さくてもいいから地域に貢献できるようにしたい。そのためには会費を安くして参加しやすいクラブに」

例会は月2回、夜に集まる。会費は月5000円。ゴージャスなホテルで昼食付き例会のようなことをしなければ、会費を低く抑えることは可能だという。会議が終わった後に希望者だけが別会計で懇親を深める制度にした。創立時の男女は同数、現職市長も入会した。現在では衛星クラブでありながら白石市ではいちばん会員数の多いロータリーのクラブになった。

「麻生さんは行動力があって、仲間を引っ張ってくれる。白石では麻生さんの発言は大きな影響力を持っています」

と仲間は全幅の信頼を寄せている。麻生さんの人生はまるでジェットコースターに乗っているかのようだ。今も毎月東京へ何度も往復するし、踊りの稽古で京都まで足を延ばすことも多い。麻生さんを中心とする東京での異業種交流会「ASO会」は会員が400人もいて、毎年2回会合を開くそうだ。フェイスブックなどSNSを活用してロータリーの活動なども広く伝えている。

取材最終日の3月18日、碧水園で2年ぶりに講座生発表会が行われた。前日に地元の人気テレビ番組で麻生さんが宣伝したが、この日は朝からあいにくの雪。教へと学びの成果を見せる場で、麻生さんが日本舞踊と英会話を教える「白石市子ども日本舞踊教室」の4歳から小6までの子どもたち15人が舞台上上がった。楽屋で子ども一人一人に化粧の紅を付けていた麻生さんは、こう言った。



ロータリー衛星クラブの仲間たち

「子どもたちには未来があります。この子たちには美しい日本の文化を理解し、身に付けた上で世界に羽ばたいてほしい。私がこれまで経験し、そして役に立ったことを、これからも少しでも伝えていきたい」

◇麻生菜穂美(仙台南・白石ロータリー衛星クラブ会員) 日本舞踊直流若柳派常任理事。白石市歴史文化アドバイザー。1960年生まれ。津田塾大学卒業後、国際企業を経た後、94年からオリンピックに関わる。97年長野オリンピックの調整役としてIOCに出向。2002年白石市に戻る。07年白石北RC入会。12年会長。19年退会。20年衛星クラブ議長就任。



通訳の仕事と並行して麻生さんは過去の五輪公式記録報告書を読み込んだ。タイムリミットが迫る中、五輪を成功させるために何をすべきか進言し続けた。広報から本部調整班へ。そして、スイス・ローザンヌにあるIOC（国際オリンピック委員会）に出向する辞令が出た。

IO Cでは当時のサマランチ会長の下で働き、日本の組織委員会と本部の調整役として精いっぱい活動した。多くの問題を抱えていた長野五輪。競技運営だけでなく、自然環境の保全問題からイベントや広報にまで夢中になり、睡眠時間を削って仕事に打ち込んだ。相手が上司であれ、有名人であれ直言をためらわなかった。人生をささげたような長野五輪

が無事終わり、英語とフランス語の公式記録報告書（それぞれ約1000ページの編集責任者を務め、一連の仕事を締めくくった。

何もかも順風満帆というわけではなかった。オリンピック後に離婚、元パートナーは間もなく他界する。東京に戻り、外資系IT企業で光ファイバー事業に関わったが過労だったのだろう。精神的に不調を来し、「夢遊病者のようになって」白石市に戻ったのは2002年のことだ。

リハビリにもなる、と母に勧められて日本舞踊を再開した。28歳の時に既に名取は取っていたが、それ以降は仕事に忙殺されて日本舞踊から全く離れていた。それでも師範試験を受けると合格。母の弟子にも教え始めることに。次第に心身に力が戻ってきて、白石市社会教育委員など多くの役職の依頼がくるようになった。

人の役に立ちたいとの思いが募り、誘いもあつて07年に白石北ロータリークラブ（RC）に入会した。地区の国際奉仕委員などを務め、ローテックス（元青少年交換学生）の先輩としてこれから留学する若者へのアドバイスにも力を入れた。

「留学は私自身にとって、とても有意義だった。恩返しをしたと思う」

しかしこの頃に乳がんが見つかる。がんはリンパ節にも入っていた。大手術の後に通常より長い放射線治療と強い抗がん剤治療。当然髪は全て抜け落ち、つらい治療の日々を送った。

病気を乗り越えた麻生さんを11年、東日本大震災が襲う。内陸の白石市は津波こそなかったものの大変な被害だった。市立白石中学校に設けられた避難所には、福島県南相馬市などからも避難者が次々と到着。被災者への炊き出しの陣頭指揮



麻生さんの実家で、片倉家の菩提寺

日本国内だけでなくイタリア、アメリカ、中国など海外公演も多数行い、日本舞踊の普及に努めてきた麻生さん。マスコミの取材も多く、企業や大学などからの講演依頼など忙しい日々を送る。今回、3日間取材をしたが、写真撮影のたびに麻生さんの和服は替わっていた。

「着替えが大変では？ 着物は何枚ぐらいお持ちですか」

と聞くと、

「職業柄、多いですね」

と笑う。

「5分もあれば着ることが出来ます」

高1でアメリカ留学 長野五輪でIOCに向

麻生さんは東京生まれ。2歳の時に宮城県白石市にきた。父親が片倉家の菩提寺「傑山寺」を継ぐことになったからだ。片倉小十郎景綱が眠る寺は400年以上続く名刹で、祖父は長く白石市長を務めた。旧家の血筋だ。何をしても「市長さんのお孫さん」と言われ、麻生さんは窮屈な思いをして育ったそうだ。

母が日本舞踊の師範名取で、6歳から踊りを習ったが途中でやめた。3歳で始めたピアノに引かれ、音楽に傾倒、小学6年生で子ども作曲コンクールに入賞。小さい頃は作曲家になるのが夢

だった。中学時代にはギターやキーボードも始め、音楽仲間とバンドを組んで「ヤマハポピュラーソングコンテスト」東北大会で優秀賞に輝いたことも。

白石女子高校1年の時に学校の廊下に張り出されていたロータリーの青少年交換プログラムが転機をくれた。心配する声もあったが、「思い切って行ってみなさい」という母に背中を押された。片言の英語しかできなかったが、アメリカ・ミネソタ州の高校に1年間留学した。

「アメリカのロータリアンの家にホームステイして、生徒数2000人のマンモス校に通ったのですが、最初は周りの学生たちから『アジアからきた黄色いおチビさん』というまなざしで見られました。英語もできないし、しばらくは友達がい人もできませんでした。ところが文化祭で持ってきた振り袖を着て、母に教わった日本舞踊を踊ると翌日から周囲の態度が一変したのです」

きた。

「日本ではみんな着物を着てるの？」「富士山って何フィート？」「空

手はできるの？」と質問攻めに。麻生さんは辞書で懸命に調べて片言の英語で答



えた。自国の文化を大切にする人は尊敬されると知った。以来たくさんの友達に恵まれた。将来の夢が作曲家から国際的な仕事をしたい、に変わったのもこの留学がきっかけだったという。

津田塾大学で国際政治経済やフランス語を学び、ソニー(株)に就職。東京・銀座のソニービルで海外からの苦情処理やイベントの仕事などを担当。3年後にハナエモリ・インターナショナルに転職した。英語やフランス語の能力を買われたのだ。その後、結婚して長男が生まれた。長男に重いアトピー性皮膚炎とぜんそくがあると分かり、転地療養のため東京から軽井沢に移り住んだ。ちょうど長野冬季オリンピック招致運動の最中だった。

長男の容体も安定した頃、長野の五輪組織委員会が通訳を募集していることを知った。試験を受けると見事合格。難関を突破した訳を後で関係者に聞くと、「英語力ではなく、問題文に出てきた長野五輪のマスコットの鳥という漢字を書けたことや美しい日本語が決めた手だったそう」と笑う。

この人訪ねて

A S O
N A H O M I

麻生菜穂美さん

● 仙台南・白石ロータリー衛星クラブ

konohito・tazunete



教科書で紹介された 白石の日本舞踊指導者

東京から東北新幹線で1時間50分。待ち合わせた白石蔵王駅近くのホテルで、和服姿の華奢な麗人が小走りで近づいてくる。今回の主人公、麻生菜穂美さんだ。日本舞踊直派若柳流の師範名取で若柳梅京を名乗る。地元では梅京先生と呼ばれることも多い。着物で走っても絵になる。

伊達政宗の懐刀だった片倉小十郎景綱が城を構えた白石市は古来、能など古典芸能の伝承を尊び、市内には「碧水園」という立派な能楽堂がある。

多くの子弟に日本舞踊を指導している麻生さんは、十数年前からこの碧水園能楽堂で市内の小学4年生を対象に、日本舞踊を中心とする和文を体験する授業を行っている。これまで数千人の小学生に教えてきた。

麻生さんの歩みは、全国の中学1年用の道徳教科書『輝け未来』（学校図書）にも5ページにわたり紹介されている。「グローバル時代における文化力」と題して行った麻生さんの講演をまとめたものだが、平明な語りの中に麻生流の生き方を知ることができる。

伝子レベルで読み解くことによって、治療が変わるかも、という時代になったのです。

医師になった当時、「ゲノム医療」はまだ現実的ではありませんでしたが、未知の遺伝子を解明することは魅力的でした。大学院生の2年半は、ひたすら実験漬けの日々。「実験は嫌い」と思っていました。朝から晩まで実験していると、それが日常になってしまつて、ここでも苦手意識はいつの間にか消えていました。

研究で大事なものは、一人で抱え込まないことです。自分だけで何かやろうと思つても、うまくいかない。それに、研究は必ず仲間と一緒に進めるもの、チームで行うもので、仲間と行うからいろいろなアイデアが出て、研究の輪が広がります。細かな実験の話は省略しますが、20代の若い女性に、なぜがん？ という疑問にも、その人のゲノム・遺伝子を調べれば、どんな治療法で対処できるか、ということをも分子・遺伝子のレベルで考えられるようになります。臨床の現場で直接的に、どの患者さんにも応用できるようにしなければい、と思っていました。

現在、「ゲノム医療」は保険診療で受けられるようになったのですが、今も「ゲノム医療」という概念は、多くの医師にとってまだまだ未知の領域です。また、「ゲノム医療」を保険で受けられるのは、今のところ約230カ所の病院に限られています。こうした情報を知っているか否かでも、治療が全然違ってくる可能性があります。

情報を患者さんが得られるかどうか、あるいは、医師が情報をしっかりと伝えられるかによって、その人のがんの治療、検査が変わってくるかもしれない。そういう時代になってきています。

ゼロでなければ 自分にも十分チャンスがある

最新の医療を、患者さんに確実に届けることがとても大事な時代になりました。そこで、専門的な基礎医学の研究成果を臨床の現場でも還元するため、東大の大学院に新しい講座「統合ゲノム学」をつくることになり、初代教授に選ばれました。

ゲノム医療を推進するには、自分の専門のがんしか知らない、というのでは通用しません。病理部や検査部、看護部、薬剤部、臨床検査技師、遺伝力カウンセラー、といった医療に携わる、病院の多様な職種の人たちとの連携が必須で、医師だけでは回りません。さらに、保険診療として行う以上、病院の医療事務の担当者との調整や、企業との共同研究、連携も必要です。統合ゲノム学・ゲノム診療部はデパートのように多彩な人々が交わる場でもあります。各診療科、さまざまな職種の人々が気持ちよく働けるような協調性や社交性などが、不可欠となります。

最近、今の現場は実家のスーパーの経営と同じじゃないか、と思うようになりました。医者や商売人ではありませんが、「顧客」である「患者さん」が満足できる医療を届けるには？ と考える必要があります。良い「商品（治療法）」があるだけではだめ。やっぱり卸業者がいて、それを小売店、スーパーマーケットに卸し、顧客に提供する必要があります。この一連の流れを差配できる人材が必要なのです。スーパーが実家だった私自身の生い立ちや持ち味が活きる場なのではないか、と日々思っています。

最後に今日の話の「Take Home Messages」です。文字通り「自宅に持ち帰ってほしいメッセージ」です。これだけは覚えておいてください。確率とは、ゼロでなければ自分にも十分チャンスがある、ということです。300分の1の確率の場合、300種類のことに挑戦すれば、300分の1の確率を達成できる期待値は1になります。とにかく、いろいろな挑戦してみてください。自分の可能性が広がるかもしれません。何も挑戦しなければ確率はゼロです。

そして、努力はさせられるものではなくて、自発的なものです。「努力しなさい」と言われ「はい分かりました」と努力できるほど、甘いものではありません。逆に、自分で努力できるものを見つけたことができれば、それは自分が好きで行うことです。その努力は続きます。

ですから、努力ができるための最善の方法は、自分がこれなら続けられる、という努力できる対象を見つけたことだと思います。そして、自分がこれを努力しよう、やってみようというものを自分で見つけたならば、地道な、つらい鍛錬なども前向きになれるでしょう。どうやったら上達できるかということも、自分の頭を使って考えていくようになるでしょう。苦手意識を持っていたことも、実は自分の武器になるかもしれません。

「これは自分には無理だ」と初めから決め付けないで、本当にいろいろなものに挑戦してみると、意外な自分を見つけたことができ、いろいろな道が開けるんじゃないかなと思います。それは、子ども大人も、幾つになっても変わりません。きみのその可能性、開く？ 閉ざす？

学校にもすぐ報告しなかったのです。周りの仲間のこと、先生はどういう思いで待っているのか、きみは自分のことしか考えていない、と。

先生に怒ってもらえたことは、とてもありがたかったです。人生でいいことがあった時にこそ一回、自分の足元を見るべきだ、と身に染みしました。そして先生、友人、家族、本当にいろいろな人に支えてもらってこそ、自分は合格できたのだと初めて、感じ取ることができました。

人生で大きな挑戦をすることは、とても勇気のいることです。漫画『ブルーピリオド』は、東京藝術大学を受験する高校生が主人公で、物語を曲にするユニット・YOASOBIが「群青」という曲にしています。この歌詞、この物語そのものに、私もとても共感しました。人生つまらない、と思っていた主人公は、自分も絵が描けるんじゃないか、と気付きます。やがて、全てを懸け自分にかかせない色（青）で絵を描くことにより、自分に誇りが持てるようになったというストーリー。自分の人生を懸けて何かに挑戦するってすごく貴重なことだよな、と改めて思いました。

先の北京オリンピックで、フィギュアスケーターの羽生結弦選手は4回転半ジャンプに挑戦し、メダルを逃しました。彼だったら、安全運転で演技していれば、メダルを取れたでしょう。この挑戦をもつたいない、と見るのか、格好いいと見るのか？ 現実には多くの人が挑戦に感動したのです。羽生選手には、チャレンジするプロセスもまた、とても貴重な財産となったはずです。

大学入学以降の話に入りましょう。富山での高校3年間、本当に勉強だけで過ごしたので、東京で大学生活をスタートするのは、なかなか大変な

状況でした。幸い、当時は医学部の授業も本当に緩やかで、時間をかけて東京の暮らしに慣れ、大学生活を楽しむことができました。バスケットボール部に入り、スキーに行ったり、海外旅行に3回行ったり。病棟実習の仲間は6人、多彩な仲間と、自分が高校まで過ごしていた時と、全然違うような交流を図ることができました。

医学部では、自分で専門の診療科を決められます。当時は大学6年の時点で決めました。産婦人科を選んだきっかけは大学5年の時。東大病院の外で、実習に行く機会があったのがきっかけでした。東大病院の中にいると、難病の、ものすごく珍しい疾患の人にしか出会いません。極端な話、風邪の人に何をどう聞いて、どう薬を処方すればいいかも分からない。いわゆる町の病院で診る疾患は、大学の中にだけいると、ほとんど経験しないことになるのです。

その点、産婦人科は一般病院で実習があり、日常の医師はどんな働きをするのかというイメージを持つことができました。もう一つ、お産する女性には30歳前後が多く、赤ちゃんは0歳。同時に2

人の患者さんを診ることができて、余命は2人合わせれば百数十歳になります。余命という視点から見ても、同時に2人の命を救えるので、社会貢献度が高そうだと思います。加えて、領域が広いのに医師の数は決して多くないのです。自分の持ち味を生かせるのでは？ と考えました。

産婦人科の中ではがんを専門にしました。子宮頸がんは若年女性に多いがんです。ウイルス感染の予防が重要ですが、日本では今、副反応の件でこのがんのワクチン接種が遅れています。亡くなる方が年間約3000人、幼い子どもを残したままお母さんが亡くなる現場を見て、何とかしたいと思いました。産婦人科のがんの専門家は不足していると感じ、がんを専門に選んだのです。

がんになる原因をたどると、正常な細胞とがんの細胞では明らかに違いがあります。がんががんたる所以（ゆえん）というのは、がんに関わる特定の遺伝子に変異（ゆえん）が起こり、がん細胞が増えやすい、あるいは死にくい性質を獲得しているからだ、ということが明らかになってきていて、原因が判明しているなら治療する手だてもあるのではないかと



■ 東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学分野教授
東京大学医学部附属病院ゲノム診療部部長

織田克利

1969年 富山県新湊市（現射水市）生まれ。94年 東京大学医学部医学科卒業。2001年 同大学院医学系研究科修了後、埼玉県立がんセンター婦人科、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校癌研究所留学、東京大学医学部附属病院女性外科などを経て、20年 同大学院医学系研究科統合ゲノム学分野教授、同大学医学部附属病院ゲノム診療部部長、現在に至る。

中学生になって卓球部に入りましたが、同時に漫画をとことん読みました。そうすると、「漫画ではなくて本を読みなさい」と言われますよね。当時、夏目漱石とか太宰治とか森鷗外、芥川龍之介、海外だとヘルマン・ヘッセの『車輪の下』を薦められましたが、どれも、堅苦しくて、しんどくなってきた、何度も名著といわれるものに挫折し、国語には苦手意識を持っていました。

でも、言葉そのものの美しさ、じっくり読めば面白い古典で出合う文語的な表現、機微をうがつ日本語の表現に触れるには、やはり読書が一番です。読書が趣味の人でも、好きな分野は人それぞれです。やがて、読みたい本を選ぶことから始めて、読書も楽しめるようになりました。

そして、自分の人生を考える上で、すごく大きなきっかけになったのは、中学2年の読書体験です。故・和久峻三(1930-2018)さんの本。京都大学法学部を出て、弁護士から作家になった人です。裁判の判決が人生を大きく変える、言葉の力によって人の運命が決まる、自分の頭を使うことによって世界が変わるんじゃないか、という衝撃を読みながら受け「弁護士になろう」と決めました。

弁護士になるには司法試験に合格する必要がありますが、当時、司法試験の合格者は年間500人くらいで、受験者は2万数千人、合格率は約2%。50人に1人も受からないのか? とあぜんしました。でも、東大の法学部なら受かるんじゃないか、確実に弁護士になりたいなら東大、と意識するようになりました。

よし、勉強しよう、と決意し、高校は富山中部高校の理数科に進みました。自分の実力を伸ばす

ためには何をしていけばいいのか、を考えることも大切です。一流の人は常に考えているのだ、と最近思うようになりました。

例えば野球の佐々木朗希投手。超一流の選手ですが、1年目はプロとしての体をつくることに終始していました。才能さえあればみんな必ず輝ける、という保証はありません。才能があつて、さらにそれを伸ばすための戦略、努力の仕方がとても大事になってきます。才能、自分の強みは何かを見いだし、その強みを伸ばすための努力をする。戦略を立て、努力の過程を可視化できるようにし、「きちんとこなしていけば自分の目標に近づける」という信念を持って、その努力を続けていく。それによって実力も付いてくる。実力が付けば、次にまたつながって、次に成長、飛躍していきます。また、自分を過小評価しないことが大切です。「これが苦手だ」という先入観を持つと、大きなチャンスを失う可能性があります。私の場合、先に述べたように中学時代は国語が苦手だ、という思い込みがあつたのですが、好きな作家に出会って本を読む習慣が付き、高校生の時に苦手意識を払拭して、自分の感じたことを思うままに書いた読書感想文が、学年優秀者に選ばれることもありました。

自分はこれが苦手なんだ、と勝手に決め付けずに挑戦してみよう、というメッセージを贈ります。

全てを懸け、人生で 大きな挑戦をするかどうか

さて、現役で東大に合格することを目標に、勉強時間と読書時間を記録する日記を付けました。

確実に毎日、一定の時間、勉強時間を確保する、という戦略です。どれだけ勉強してどれぐらい効果があつたか、ムラがないかをチェックします。努力の可視化ですね。

大学受験では文系か理系かの選択があります。得意科目は理科、数学でした。でも、弁護士になりたいのなら法学部です。明らかに文系です。理系なら、人の気持ちに寄り添う仕事として医師がいいかも、ならば医学部か? と悩みました。ただし、医学部は定員が少ないので難易度が高く、東大で学びたいなら、確率論でいけば、文系の方が絶対有利です……。

悩みましたが、安全運転だけで大きな幸せを勝ち取ろうとする考え方は甘い、と思うようになりました。幼い頃から海外で練習し、一生懸命、英語も勉強し、文化の違いも乗り越えて活躍するスポーツ選手を見ても、リスクのある選択が人生を変えています。入試のリスクは高くなっても、医者も東大も両方狙いたい、人生を懸けて勝負しよう。一大勝負を決めた瞬間です。成功が保証されていない挑戦だからこそ人生は面白い。ということで、東大理科三類を本格的に狙うと決めました。こうしてゴールをより明確にして、高校生活を過ごすことになりました。

今はコロナ禍で自粛になりましたが、当時、大学合格者名簿を張り出した掲示板前で、合格者は胸上げをしてもらえました。この瞬間を味わいたくて、合格発表の日、私は富山から東京まで掲示板を見に行き、自分の名前を見つけ有頂天になっていました。人生最高。

ところが、この合格発表の日に、私は物理の先生に怒られました。同級生の結果を見ることなく、



© iStock / izusek

「苦しい」ではなく、「楽しい」ものでした。どちらが数学の力が付きやすいかは言うまでもないですね。

さらに、集中力が高まり、努力した証し
が自信にもなりました。私にとってはそ
ろばんでしたが、学生の間に自分がこれだけ
のことをやった、努力したという経験、証
しは、とても大きな財産になると思います。

そもそも、「努力」って何でしょうか？
努力することが大好きな人はあまりいませ
んよね。「力の限り努める」って、字面か
ら見ても、努力ってしんどい、となります
よね。

では、なぜ努力できる人と苦手な人がい
るのか、努力の定義を少し考えてみましょ
う。テレビを見るのに努力する人、あんな
りいません。何か上達する、自ら実力を付
けるために練習したり、トレーニングした
りすることを「努力する」と考えてしましょ
う。例えばマラソン。考えようによっては、
家でごろごろしている方が楽なのに、わざ
わざ42^{キロメートル}以上走ることが爽快だと思え
る人もいて、練習するわけです。

人によって、努力することが苦行ではな
いものがありそうです。そして、それは一
人一人違います。ですから、自分ならどん
なことが好きで一生懸命できるのかな、と
いうことを考えてみるのは、一つのきつ
かけになります。ある人には苦痛、面倒と思
うことが、自分にとっては楽しくて、上達
するのがうれしくて、続けていくうちに新
しい何かが見つけられる。好きこそものの

上手なれ。実力が付くことで次の目標が見えてく
る。そう、努力はさせられるものではなくて、自
ら積み重ねていくものなのです。

先ほどの300分の1の話ですが、例えばオー
ケストラだったらいろんな楽器があるし、野球も
ポジションがいっぱいある。いろいろな分野にい
るいろんな立場の人、役回りの人がいる中で、何か
一つ、自分が得意なものって、必ずあります。一
芸に秀でていることが、全国的に注目されること
もあるし、みんなを喜ばせるってこともあるかも
しれない。世間から注目されている人も、自分に
とっての一芸に出合うことがなければ、その才能
が開花しないまま、普通の人で終わっていたかも
しれません。

自分ならどんな職業に就くか、ということを見
える際にも一芸を意識してみましょ。薬剤師、
博士、消防士、画家、運転手、スポーツ選手、ど
んな分野のどんな技術でもいいから、何かこれ
だったら自分にもできるというものがあると、本
当に人生、彩り豊かになると思っています。好き
なもの、自分の心血を注げるものが見つかれば、
自然と「努力」ができますよ。

小学生の時に、同級生の会話を小耳に挟んだこ
とがあります。私・織田克利は「おだかつ」とい
うあだ名でした。「おだかつって頭いいのか？」「そ
ろばんができるから頭がいいように見えるけど、
たいしたことないでしょ。〇〇君の方が頭いい」。
ちよつと悔しいな、と思いました。そして、自分
の力ってどんなものなのか、頭の良さに関して、
何か自分で証明できるようなものがないかな、と
考えて、将来、高校はいわゆる進学校を目指そう
かな、と思い立ちました。

その可能性、 開く？ 閉ざす？

自分ならどんなことが好きで一生懸命できるのかな、ということを考えてみるのは、一つのきっかけになります。ある人には苦痛、面倒と思うことでも、自分にとっては楽しく、力が付くとうれしく、継続することができ、結果として新しい自分を見つけれられるかもしれません。好きこそものの上手なれ。実力を付けられれば次の目標が見える。そう、努力はさせられるものではなくて、自ら積み重ねるものなのです。

東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学分野教授
東京大学医学部附属病院 ゲノム診療部部長

織田 克利

Katsutoshi Oda

「努力」って何でしょうか？

射水市立新湊中学、新湊南部中学、射北中学の皆さんこんにちは。正直、今日は勉強したかったと思う人、いやいや講演でラッキー！ と思った人、両方いると思います。でも、こんなコロナの時代に、ちょっととしたイベント、何か日常と異なる経験ができる機会はとても貴重です。私の話の何か一部でも、皆さんの心に残るものがあるとうれしいです。

今日は地元富山県の新湊ロータリークラブの紹介で呼んでいただきました。ロータリーでは多彩な職業の人たちが集まり、地域のために貢献しています。地元愛ってやっぱりいいですね。私もここ新湊で育ち、それが自分の根っこになっているので、生い立ちも含めてお話ししたいと思っています。前半は大学入学までの話、後半は大学に入ってからのお話をします。今日は300人くらいのみんなが聴いてくれている、とのことなので、まず「300人に1人」という視点から話を始めます。富山県の人口は約100万人。1日の新型コロナウィルスの感染者数が100人とすると、1カ月で3000人が感染します。これは約300人に1人です。というように、身近な数字で物事を

考えてみてください。私は中学生の時、自分は東京大学に合格できるのか？ と考えてみました。富山の中学生の1学年は今、1万人くらいだそうです。富山県から東大へは今年、三十数人が合格しました。例年、30〜40人くらい合格しています。ということは、富山県から東大に合格する確率は300人に1人くらいですね。ここにいる皆さんの中から誰かが東大に進学することは、確率的には何の不思議もありません。最初から諦める理由は、どこにもないと思いませんか。

私は、スーパーマーケット店主の息子として育ちました。小学生時代を語る上で欠かせないのはそろばんです。小学校1年生の9月4日の土曜日がそろばんと最初に出合った日です。そろばんを始められるのがうれしくてうれしくて、今でも覚えています。そろばんのいいところの一つは、上達を実感しやすいことです。十級から順に始まっていくのですが、誰もががある程度の級には進むことができます。毎年昇級・昇段があり、これが自信になりました。県大会に進み、その学年で優勝できた年もありました。優勝は同学年1万人以上で一人だけですので、そうした小学生の時の成功経験は、大きな財産になっています。

そろばんで得られるのは、計算力はもちろんですが、それだけではありません。数字に対するセンス、感覚、分析力も培われます。さっきの数字の300分の1の感覚もそうですけれども、自分の中で数字というものを見た時に、感覚的にセンサーが働くようになりました。だんだん授業で難しくなっていく数学に対して、学問として興味を持ち、理解して楽しめるようなスタイルが自然とできたのです。そのため、数学は自分にとって

その可能性、開く？ 閉ざす？

東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学分野教授
東京大学医学部附属病院ゲノム診療部部長

織田克利

4
65

シリーズ この人訪ねて

麻生菜穂美さん

仙台南・白石ロータリー衛星クラブ（第2520地区）

記事・山本朋史 撮影・工藤隆太郎

9
60

卓話の泉

アニマルウェルフェア

岡田千尋

13
56

私の一冊

岩内 川崎孝之

13
56

ロータリー 俳壇

◆長谷川 權 選

14
55

ロータリー 歌壇

◆馬場あき子 選

14
55

ロータリー 柳壇

◆三遊亭白鳥 選

14
55

友愛の広場

不思議な歯車のマークに導かれ……

上山 枝松祐子

16
53

全員で力を合わせ「世紀の一戦」をPR

金沢香林坊 村本暢之

ジェニファー・ジョーンズR1会長を迎えて 東京愛宕 鈴木潤子

良いものは学び、広げる

宇和島 渡部太輔

2022年、会員にとつての「漢字一文字」

京都イブニング 山本武臣

百の頂きに百の喜びあり

高岡 竹中伸行

◆うちの子

ロータリー・アット・ワーク

ウクライナからも……

世界子ども絵手紙展開催

川崎北ロータリークラブ

東京渋谷／大阪アーバン／河内長野東／内浦／

青森／別府／第2740地区／鹿児島／

第2570地区第1グループ／弟子屈／那覇北／

東京山の手

マニラの小学校に大型モニター寄贈

オリンピアンが中学校で出前授業

養護施設退所者支援 ガウディプロジェクト

小学生に歴史案内図を贈呈

ウクライナ避難民支援でチャリティー講演会を開催

第2840地区ロータリーアクトクラブ

『10年の幸福写真』写真展

SDGsを考える討論会

小学生の手作り絵本コンクール

ドリームプロジェクト再開 五輪選手を招き講演会など

仙台・東京恵比寿

声

2月号の感想

29
40

表紙 「心のまにに」

こまえ工房（しろくまアルチザン） 五味拓也

表紙題字 加藤光峰

表紙デザイン スタジオジャングル・ジム

◆本誌中のRCはロータリークラブ、R1は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた3ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆表紙については横組み38ページを参照。

21
48

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



クイズに答えて 知識をチェック!



クラブで正しいロゴを使う方法を クイズで楽しく学びましょう

My Rotaryのブランドリソースセンターから「One Voice, Every Club」で検索

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

5

2023

May

SPEECH

織田克利さん

その可能性、開く？ 閉ざす？

この人 訪ねて

麻生菜穂美さん

仙台南・白石ロータリー衛星クラブ